

1 議事日程

[令和4年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和4年3月15日

午前10時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第20号 令和4年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第27号 令和4年度太宰府市一般会計補正予算(第1号)について
日程第3 議案第21号 令和4年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第4 議案第22号 令和4年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について
日程第5 議案第23号 令和4年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第6 議案第24号 令和4年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第7 議案第25号 令和4年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第8 議案第26号 令和4年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである(18名)

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	神武綾	議員
委員	タコスキッド	議員	委員	馬場礼子	議員
〃	今泉義文	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	宮原伸一	議員	〃	入江寿	議員
〃	木村彰人	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	船越隆之	議員	〃	堺剛	議員
〃	笠利毅	議員	〃	原田久美子	議員
〃	小島真由美	議員	〃	長谷川公成	議員
〃	橋本健	議員	〃	門田直樹	議員

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名(41名)

総務部長	山浦剛志	総務部経営 企画担当理事	村田誠英
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部長	田中縁
都市整備部長	高原清	都市整備部理事 兼総務部理事	山崎謙悟
観光経済部長 兼国際・交流課長	東谷正文	教育部長	藤井泰人
教育部理事	堀浩二	総務課長併 選挙管理委員会事務局長	川谷豊
経営企画課長	佐藤政吾	経営企画課副課長	杉山知大
文書情報課長	高原寿子	管財課長	柴田義則
防災安全課長	白石忠	地域コミュニティ課長	齋藤実貴男
市民課長	野寄正博	税務課長	田代浩

納税課長	大谷賢治	環境課長	高野浩二
人権政策課長兼 人権センター所長	河野貴之	国保年金課長	山口辰男
福祉課長	井本正彦	生活支援課長	江坂研治
介護保険課長	立石泰隆	高齢者支援課長	行武佐江
保育児童課長	大石敬介	元気づくり課長	安西美香
子育て支援課長	松田勝実	ごじょう保育所長	寺原貴美栄
都市計画課長	竹崎雄一郎	建設課長	中山和彦
建設課用地担当課長兼 県事業整備担当課長	伊藤剛	観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	池田哲也
産業振興課長	伊藤健一	学校教育課長	鳥飼太
社会教育課長	添田邦彦	文化学習課長	花田敏浩
文化財課長	友添浩一	スポーツ課長	轟貴之
文化財課副課長	中島恒次郎		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	木村幸代志	議事課長	花田善祐
書記	平田良富	書記	岡本和大
書記	井手梨紗子		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の予算特別委員会を再開します。

審査に入ります前に、この特別委員会においても新型コロナウイルス感染対策を実施しています。そこで、審査に当たっては、各委員からの質問は絞って端的に行っていただくとともに、執行部の回答や説明については簡潔明瞭に回答ください。

委員、執行部ともに、委員会の円滑かつ効率的な運営にご協力をお願いいたします。

なお、審査に当たりましては、当初予算説明資料、予算審査資料などを参照の上、審査をお願いします。

それでは審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1と日程第2を一括上程

○委員長（陶山良尚委員） お諮りします。

日程第1、議案第20号「令和4年度太宰府市一般会計予算について」及び日程第2、議案第27号「令和4年度太宰府市一般会計補正予算（第1号）について」を一括議題とし、併せて審査したいと思います。なお、審査に当たっては、事項別明細書の歳出から行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり一括議題とし、併せて審査し、事項別明細書の歳出から審査を行います。

直ちに審査に入ります。

事項別明細書60ページの歳出1款議会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に進みます。

62ページ、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 2款1項1目、ページ数は65ページです。細目006市制施行40周年記念式典関係費についてお伺いします。資料のほうが、説明資料が17ページ、審査資料が3ページです。

これ、質問のほうで資料をいただいております。質問としては、市制施行40周年記念式典開催費というところで、記念式典の概要が分かる資料、お答えとしては、記念式典を実施する予定ですと。この式典に合わせて国際文化会議を開催。時期としては令和5年2月ということですが、来年ということですね。ちなみに市制施行40周年はもうすぐですね、4月1日に40周年を迎えるわけですけれども、この式典だと来年なんですね。ちなみに令和4年中に行う事業と

というのは何かないのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 市制施行40周年記念式典についてお答え申し上げます。

周年事業につきましては、市役所が行う事業のほかにも、民間の団体様が行う事業などについても、冠事業として年度を通して行ってまいります方針でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、これ、まだまだ市民の皆様のように40周年という周知がなかなか届いていないと思います。式典の開催だけじゃなくて、市民の皆様のようにこの40周年というこの情報発信、こちら辺はこれは重要だと思うんですけども、こっちのほうの計画というか、実施予定はありますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） ホームページや広報を通じましてしっかりPRをまいります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 2款1項1目一般管理費の中の001職員給与費につきましてお尋ねいたします。

これが令和3年に比べますと845万円ほどの増額になっておりますが、具体的に職員さんの人数とか、あるいは勤務年数の増加による自然上昇なのか、そのあたりの説明をお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 職員給与費につきましては、このページに掲載しておるものは総務関係の72名分でございます。全体的な説明ということでさせていただきますが、人件費につきましては、減要因と増要因が両方ございます。

まず、減の要因としましては、今議会にも提案しております人事院勧告に伴うボーナスの減、それから退職手当組合の負担率の減がございます。それから、増要因につきましては、これも今議会に提案をしております時間外勤務手当の単価の増、約8%の増でございます。それから、共済組合の負担率も増となっております、トータルをしますと全体的にはほぼ前年並みという状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。今のお答で、全体的に職員の給与ということが少しずつ動いているというのがよく分かりました。ありがとうございました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、64ページ、引き続き2目の文書費、併せて3目の法制費までございますが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、66ページ、4目広報費、続けて5目の財政管理費、そして6目会計管理費まで質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねいたします。

2款1項4目広報費でございますが、この中に002広聴広報費として941万円の計上がございますが、これが令和3年度の予算から比べますと1,800万円程度の減額になっております。これはどういった理由だったのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画副課長。

○経営企画課副課長（杉山知大） 昨年度、令和3年度はホームページのリニューアルの年でありましたので、その開発経費が上乘せされておった年でありました。なので、本年度は通常どおりの執行予算に戻っているということでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 5目の細目001財政事務費の新公会計支援業務委託料なんですけれども、これ毎年のように100万円ぐらいなんですけど、今新公会計に移行しつつあるというところで、もう大分、年数的にもそろそろ本格的に始動しないといけない状況なんですけど、今の状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） お答えいたします。

公会計制度につきましては、小島委員から職員研修などのことにつきまして過去の委員会でのご指摘いただいているところです。令和3年度につきましては、職員研修までには至ってはいないんですけれども、公会計制度、まず経費の見直しということで契約方法を見直しまして、経費削減を図っているところでございます。

今後は、行財政改革を来年度進めていく予定ともしておりますので、それに併せまして、職員が保持すべきスキル、どういったものがあるかなどを見極めまして、今後専門業者に研修をしていただくなど、そういった可能性も考えてまいりたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 人事の異動であるとか、また退職者が今多い時期になっていますので、要するにこれは継続してずっとやっていく人材育成というのは、今が一番大事なときだと思いますし、総務省から今お見えですので、しっかりとこの公会計については、これぐらいの予算でいいのかわかりませんが、これは中心になる行政の一番今の大事な施策ですので、よろしく願いをいたします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 67ページ、4目広報費、細目003市長と語る会費についてお伺いします。

11万8,000円ついておりますけれども、たしか44自治会をくまなく回るところで、市長の1期目からスタートしたと思いますが、途中でコロナの関係で止まっております。恐らく半分ぐらいまで終わったと思うんですけども、今年の実施計画と、ちなみにウイズコロナということで、今までのような形での開催は非常に厳しいと。そこら辺、配慮しなければいけないと思いますけれども、開催に当たっての工夫といいますか、コロナ対策はどんなふうを考えていらっしゃいますか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画副課長。

○経営企画課副課長（杉山知大） 委員おっしゃるとおり、昨年はコロナ対策の関係上、開催を見送ったということで、今現在、21自治会まだ残っている状況でございますが、オンライン開催も視野に入れまして、これから検討してまいると。まず、今現状、進んでおるコロナウイルスの状況も見極めながら検討してまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、進みます。

それでは、68ページ、70ページまでですね、7目の財産管理費について質疑はありませんか。

そしたら、森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 失礼します。財産管理費についてでございますが、令和4年度は令和3年度に比ばまして800万円の増ということで計上がなされておりますが、比較で令和3年度は実は令和2年度に比ばまして1億5,450万円の減という形で推移しております。この1億5,450万円の減の後に800万円の増になったという経緯をお知らせください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（柴田義則） ちょっと詳細な部分はお答えが難しいんですが、昨年度は例えばですが、公共施設整備関係費でいえば例えば委託料がありましたとか、あと庁舎維持管理費に

つきましては、例えば複数年度の契約がちょうど更新年度の年になりますと、その分どうしても、予定価格の積算じゃないんですが、改めて積算し直して、その分は予算を見積もるのですとか、その辺も含めたところでの増減といたしますか、特に何かが突出したということではなくて、それぞれにプラス・マイナスがちょっと出てきているというところではございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 2点お伺いします。

まず、細目002公用車管理費についてですが、考え方として電気自動車が今、本市は買う形での計画があるのかどうか。恐らくCO₂削減というのは車というところが一番だと思うんですけども、今補助金等もありますけれども、その点が1点と、もう一つ、細目004の臨時工事の約550万円というのは、どこの工事になるのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（柴田義則） 初めに電気自動車のことにつきまして、今現在、電気自動車は軽バンが1台、これはリースなんですが、それとあと、小型自動車といたしますか、1人乗りのものが1台、今その2台で、あとはハイブリッドが数台ということになっております。今後、ゼロカーボンのことも踏まえて、今後購入につきましてはちょっと検討課題かなというふうに考えております。

それと、庁舎の臨時工費につきましては、どうしても庁舎の機能を維持していく上でいろいろな部分、電気設備、あとは実際に建物の躯体、あと部分的には窓からの部品の損傷ですとか、そういうようなもろもろの、あとトイレの損傷等も含めた簡単な工事といたしますか、その辺を含めて、これまでの実績を含めて計上させていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） それと、68ページ、69ページの001公共施設整備関係費の中の24節積立金、公共施設整備基金積立金については、令和4年度の補正予算の1号の中にありますので、これについても併せて質疑があれば受けたいと思います。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。

70ページ、契約管理費、8目ですね。9目の財政調整基金費まで質疑はありませんか。

よろしいですかね。8目、9目ですね。9目については、001の財政調整基金費の中の24節積立金、財政調整資金積立金の中も、これは補正予算の中に上がっておりますので、これについても併せて質疑を受けたいと思いますが、質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。

10目人事管理費ですね、70ページ、72ページまでですね。これについて質疑はありません

か。あわせて、これについても73ページの004職員管理費の中に補正予算の分が上がっておりますので、併せて質疑等あれば受けたいと思います。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） こちらでもちょっと職員の給与につきまして確認をさせていただきます。

人事管理費の中で001職員給与費として3億1,224万円余と出ておりますけれども、これにつきましては、令和3年度に比較しまして6,700万円ほどのマイナスといたしますか、減になっております。これは、先ほどのご説明の中の枠の中で全部はまるということでしょうか、それとも何らか、ここの点については何か特殊な事情がおりになったということでしょうか、お願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） お尋ねは、004の職員管理費の部分ということでよろしかったでしょうか。

○委員（森田正嗣委員） 職員の給与費。

○総務課長（川谷 豊） 001の職員給与費ですね。職員給与費の増減要素につきましては、先ほどの答弁と同一でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、細目の004職員管理費の73ページの18節負担金の中の人事交流人件費等の負担金、たしかこれ、契約が今年切れることも兼ねているんですが、この予算の内訳を教えてくださいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 人事交流人件費負担金についてお答え申し上げます。

こちらは九州電力から派遣いただいております東谷部長ですが、こちらの3か月分、それから西鉄から派遣いただいております理事分の12か月分のトータルでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。内容は多分そういうことだろうと思ったんですが、これは継続して何か今、市のほうでまた対応していくお考えなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 今後の予定についてはまだ未定でございますが、積極的に取り組んでいきたいという方針でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 同じ人事管理費の中の002の人材育成費につきまして、各研修会やしなやかということでお尋ねをいたしますけれども、予算の説明書の中に、新人の新入社員という場合の採用の仕方、あるいは既存の職員さんの研修の仕方としてリカレント研修とかということを書いてございましたけれども、予算総額で承ると、ちょっと規模が小さいような気がいたしますけれども、これは計画的にこういった形で将来も発展的に使うという形で予定していらっしゃるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 人材の育成については、今後とも力を入れていきたいという方針でございますので、継続的に取り組んでまいりたいというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく71ページの細目002人材育成費についてお伺いします。

審査資料としては5ページです。資料としては、人材育成に関わる研修会等の令和3年度の実績をお願いしました。それによりますと、ちょっと注目したいのが内部研修のほうなのですが、これ、累計受講人数というのがトータルで773だと思います。正規職員のほうが400名。この773名のうち、これ、職員の同和研修が492とほとんどのものを占めていますんで、ちょっとこれを除いたところで。実質研修というものは281なんですけれども、かなりこれ、職員数に対して研修数が少ないように感じますが、ここら辺、人材育成というところでこの研修回数、これについては何か問題はないでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 令和3年度におきましては、コロナ禍ということで中止になった研修も多数ございます。コロナが収まりました後は、従来どおり研修人数も増やしてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連しまして、この研修、内部研修についてはほぼほぼ正規職員の研修だと思われましても、これ、審査資料の23、24ページ、こちらのほうが会計年度任用職員の数、これで非常によく分かるわけですけれども、会計年度任用職員がフルタイムが122名、パートタイムが283名、合わせて405名。この会計年度任用職員の皆さんへの研修というのはどういうふうになっていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） ご指摘の会計年度任用職員の研修も非常に重要な部分だと思っております。専門職を中心に、専門研修を中心に従来から実施しておる状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） いいですかね。

ほかにはありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 73ページ、004職員管理費の中の1節報酬の産業医なんですけれども、今の勤務体制と、それからあと、8節の旅費のところには産業医費用弁償というのがあるんですけども、ここも含めてどういう積算になっているのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 産業医につきましては、労働安全衛生法によりまして設置の義務づけがなされておる職でございます。年数回の衛生委員会という、職場と産業医含めての会議を持っておりまして、費用弁償もこちらの衛生委員会対応の費用弁償でございますが、職場巡視など職員の労働環境についてのご意見を賜るということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 71ページの002の人材育成費のしなやか研修なんですけれども、これに関して、研修を受けられた方に関しては資格とかは取れるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 一部資格取得可能な研修もございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） じゃあ、その資格を生かした人材というか、人事採用とかされているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 採用に関しては、面接などを通じまして、どのような資格を持っているかということをお聞かせいただいで、その資格にふさわしい職場に配置をするように努めております。

○委員（馬場礼子委員） 分かりました。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、進みます。

それでは、74ページ、2款総務費、2項企画費、1目の企画総務費、取りあえず76ページまでについて質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 75ページ、細目004総合企画推進費のところ、これ、令和3年度予算には総合計画審議会委員という形で報酬あたりがのっておりました。今回、令和4年度の予算

にはのってないんですけども、ちなみに令和3年度の総合計画の審議会の結果というのは、また我々は聞いてないんですが、これはもう終わったと考えてよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 確かに令和3年度では総合計画の委員の報酬等の予算を計上させていただきましたが、実際には令和3年度、総合計画の策定委員会は開催はいたしておりません。令和3年度、第五次総合計画につきまして、庁内で委員会を立ち上げて総括を行っているところでございます。現時点で、次期第六次総合計画を策定する、しないという判断をまだしているわけではございません。来年度、総合計画の委員の予算は要求、お願いしていませんので、もし委員報酬等が今後必要になった場合は、補正予算等で対応させていただけたらと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく細目004総合企画推進費の中で、総合戦略推進委員への報酬が令和3年度44万円、令和4年度は88万円と、これ倍増しているんですけども、ここら辺、令和4年度のこの推進委員会の活動計画というか、これ予算倍になっていますので、どういうふうになるかご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） ビジョン会議でございますが、ビジョン会議におきましては、総合戦略の進捗状況に加えまして、代表質問等で市長が答弁いたしましたとおり、来年度重点項目、例えば中心市街地活性化などにつきまして、委員の皆さんに意見を聞く回数も増加すると考えております。そういったことから、8回分の予算を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） このビジョン会議の委員のメンバーなんですけれども、これは当初選任されたこの委員の方たちがずっとされていくという形でいらっしゃるんですかね。もう一度このメンバーの方たちを少しご説明いただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 現在の総合戦略推進委員会、まちづくりビジョン会議の委員でございますが、定員は20名のところ19名の方に委嘱させていただいております。委員の内訳につきましては、識見を有する者、それから金融機関関係者、商工業関係者、報道機関関係者、その他規則で制定されておりますので、そのとおりの委員の皆さんを委嘱している状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは総合計画と匹敵するところの大事な会議になるかと思うんですが、この19人のメンバーで、最終的な楠田市政の中ではつくり上げていくということの考え方でよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 市の重点施策につきまして、こちらの委員の皆様にご意見を伺いしながら、施策を進めてまいりたいと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） ちょっと補足いたしますと、今の委員の任期が令和5年3月31日でありますので、当然この先のことがどうなるかはまだ現状、何も考えているところではございませんけれども、この期間においてこのメンバーと議論していくということは考えているところではございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 今回の委員会の話ですけれども、構成メンバーの中に専門職といいますが、識見を有する方という形で私どもは聞いておりますけれども、市民の代表というような形の参画についてはご提示ありましたでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 現在委嘱しています委員につきましては、太宰府市内にお住まいの方ももちろんいらっしゃいますが、市内で事業展開をされている方など、太宰府市に係ります見識をお持ちの方を中心に就任をお願いしているところでございます。今後も市民参画の観点を念頭に運営してまいりたいと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 企画費の1目はいいんですね。企画総務費。

○委員長（陶山良尚委員） 企画総務費までです。

○委員（橋本 健委員） じゃあ、77ページの24節積立金の中の古都・みらい基金積立金、これが145万6,000円と計上されていますが、去年は5万4,000円ぐらいだったと思うんですね。30倍近くになっている。この増額の理由をお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） こちらの古都・みらい基金の積立金の増額の理由についてでございます。こちらの古都・みらい基金の積立金に関しましては、今年度、令和3年度からふるさと納税の使途の一つといたしまして、古都・みらい基金という使途を設定いたしております。そういったことから、来年度、古都・みらい基金を指定された寄附金から、ふるさと納税ですので、返礼品その他諸経費を除いた額を積み立てる予定ということで、来年度は増額させていただいている状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これは上の歴史と文化の環境税、これとの代替案で創立された古都・みらい基金なんですけれども、もう十何年になりますかね、十四、五年になると思うんですが、現在高、これまでの累計の残高を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 現在の太宰府古都・みらい基金の基金の残高でございますが、約396万5,000円でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 77ページ、市民意識調査委託料についてお伺いします。

説明資料としては11ページの一番上です。戦略的まちづくり推進の中で、インターネットも活用した市民意識調査を行いと、従来の市民調査に加えて新しい手法の市民調査を加えるというふうなんですけど、これ予算的に見ると、令和3年度の予算とまるっきり一緒で244万2,000円、令和4年度も244万2,000円。これ、予算措置をする必要がないのかということと、この新しい手法による市民意識調査、今の段階でどのようなイメージ、どういう形で市民の意識を集めようと思っていच्छるのか、お答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 来年度のまちづくり市民意識調査についてでございますが、予算計上額といたしましては今年度と変更はございません。来年度におきまして、詳細は今後計画していきたいと思っておりますが、来年度、今までは郵送が中心でございましたが、インターネットによる方法等も考えていきたいと思っております。

インターネットで調査しますと、調査項目がかなり大きくなりますと回答率が悪いというような傾向もございます。そういったところも、従来の紙と、あとインターネットでする方法、そういったものを今後検討いたしまして、来年度調査していきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 市民意識調査に関することと、先ほどあったビジョン会議との関連がちょっと気になったので、お尋ねしたいんですけれども、この新しい市民意識調査については今後検討していくということで、恐らく来年の初めぐらいに実施なんですかね、いつもの感じでいくと。もうちょっと前かな。

先ほどビジョン会議のことで、市民参加の観点を念頭にということでしたけれども、今まで

の市民意識調査というのが、総合計画ベースの設問のような形になりがちだったことを思うと、その辺どのように変えていくとかというような議論というのは、既に始まっているのでしょうか。つまり、総合戦略を念頭に置いた市民意識調査の在り方というものの検討が始まっているのかということですが。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 委員のおっしゃるとおり、昨年度、令和2年度までは総合計画をベースにいたしました市民意識調査でした。令和2年度で総合計画が一旦切れておりますので、まずは今年度の調査もシフトを総合戦略のほうに変えまして、調査を実施しているところでございます。今年度の調査を踏まえて、また来年度どうしていくか考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、76ページ、2目公文書館費について質疑はありませんか。
神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 行政資料・地域史料等研究費の中の報酬のところにあります会計年度任用職員なんですけれども、この職員さんの職種について、審査資料の請求の中から見ますと、審査資料の23ページ、公文書事務員、アーキビストと学芸員の方がいらっしゃるんですけども、この方は今、上下水道課があるあちらの公文書館のほうにいらっしゃる方だと思うんですけども、業務の内容としてはどのようなこと、もうそこだけの勤務になるのか、市内のそういう文化財とか史跡に関することでの働きがあるのか、そのところを少し教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。

○文書情報課長（高原寿子） 公文書館のほうでは、行政資料と地域史料の2本立てというところまで進めております。文化財のほうに関しては、こちらではございません。地域史料の掘り起こしだったりとか、行政資料の選別等を行っている状況でございます。

○副委員長（神武 綾委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じ76ページ、3目の交流費について質疑はありませんか。78ページまでですね。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

細目001国際交流関係費と、それから002友好都市関係費、これにつきましては予算説明で、国際交流につきましては姉妹都市承継で大韓民国10周年、扶餘郡とのお祝い、あるいは友好都

市、例えば奈良市、こちらは20周年ということで、いずれもそれぞれ周年事業に参加するような形でうたわれておりますけれども、それ以外の交流事業として何も考えていらっしゃらないかどうか、その点を確認したいのですが。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（東谷正文） お答えいたします。

扶餘郡との姉妹都市の交流周年事業と奈良市との友好都市との周年事業以外の交流事業に関して、何か検討しているかというお問合せでございますけれども、こちらに関しましては、例年どおりの交流事業で、コロナでなかなかできていなかったものもございまして、今後どのようなことができていくかというところを検討してまいりたいと考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じ78ページ、4目の男女共同参画推進費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 男女共同参画推進費、001、委託料のところ、去年は意識調査業務委託料があったんですけども、今年度はないと。その代わりに、新規かな、これ、女性相談業務委託料というのがあるんですけども、これは去年の意識調査業務委託料でそういった結果が出たんで、今年女性相談業務委託料というのが新規としてできたのか、お伺いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） お尋ねのまず令和3年度計上の意識調査業務委託料でございますけれども、令和4年度、新年度に第3次男女共同参画プランを作成いたしますので、それにつきまして今年度、市民意識調査を行ったところでございます。その意識調査の集計、分析、データ作成なども令和3年度中に完了したところでございます。よりまして、この意識調査業務委託料は、10年周期の男女共同参画プランを、これを第3次を改正、策定するのに基づきまして実施したところでございます。

この女性相談業務委託料は、予算審査資料9ページに上げられておりますけれども、今DVとか女性のいろいろな相談、様々な課題、困難、不安、DVを含めました相談を人権政策課の職員が受けております。これが件数が、令和元年度が69件、令和2年度は81件、令和3年度もう既に2月末で81件で、年度末は大体90件近くになる見込みでございます。この専門の相談を資格を持った相談員が、審査資料9ページにあります相談を受けるという体制を整えるということで、今回新規で予定している事業でございますので、これへ向けて予算要求を行っているものでございます。

以上でございます。

○委員（長谷川公成委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） これは週5日なんですけれども、例えば土日とかというのはするのか、またそこら辺の日曜日しか来れないとか、夜とかという形なんでしょうけれども、その辺の勤務体制というのはどんなふうになっているんでしょう。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 週5日は基本的に平日ですね、月曜日から金曜日までということで予定をしております。委員お尋ねの時間外につきましては、従前の委託料で上げております女性に対する暴力相談業務委託料、これは筑紫地区5市共同で行っています電話相談でございます。こちらのほうも活用していただくということでございますけれども、またこの時間外の対応については、今後とも検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） こういう相談業務、またこれだけ人数も増えてきているということなので、いかに相談をしっかりと拾い上げていくかということを念頭に置いて、この人材配置というのはしていただきたいと思っておりますので、土日、せめて月1回、2回とかという形も考えていただけたらと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 同じく女性の相談業務委託料について確認させていただきます。

ここの001の男女共同参画推進費というのが、令和3年度比較からしますと400万円の増という形で費用が出されております。そうすると、今相談員の手当といたしますか、そういったことを週5日あるいは土日で1日入ってもらえるような努力をしていただきたいというようなご提案もございましたけれども、そういった形で、この400万円という数字を一つの目安として考えてよろしいんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） 今委員お尋ねの増額は、この女性相談業務委託料594万円がほぼ中心になっているとは考えておりますが、こちらのほうは国の補助制度でつながりサポート型というのがございまして、令和4年度、地域女性活躍推進交付金ということで、4分の3の補助を一応今申請をしているところでございます。こちらのほうは、NPO法人等を活用することで国の制度がございまして、この補助を受けながら、NPOを活用して、専門の相談員が相談体制を整えていくということで考えております。

先ほど委員のお尋ねの勤務体制は、平日を想定しておりますが、また今後とも協議を進めてまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 同じく女性相談業務委託の件なんですけれども、専門職で特化されていると思うんですね。そういった事前予約なんですけれども、予約がないときのその方のお仕事の体制ってどういうふうを考えてあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） こちらは、人権政策課の事務室のほうで相談記録の作成、あるいは人権政策課職員との打合せ、それから関係課との協議といった、日常パソコン等を使いながら、それから専門性を生かした事務の教示とか、そういったことを行っていただくように一応計画をしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、次のページ、80ページですね。5目の地域づくり推進費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、確認です。地域づくり推進費、5目の細目003地域コミュニティ推進費、12節委託料の中の高齢者向けスマートフォンの講座委託料、これ実施されると思うんですが、どういう状況なのか、ちょっと詳しく教えていただきたいと思うんです。多分、公民館単位でされるのかなというふうに思っておりますが。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（齋藤実貴男） 実は、今年度も補正予算を組みまして、高齢者のスマホ教室を委託をするようにしております。ただし、コロナの関係で、実をいうともう3月下旬になりますけれども、公民館単位で、対象はひまわり台で行う1か所だけになってしまったんですけれども行っております。ですので、新年度、令和4年度につきましても、公民館単位で実施するようなことで考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。高齢者向けのスマートフォンは、これはもう非常に地域の大切な要素になってきますので、取組については詳細に逐一報告いただければと思っております。

よろしくどうぞお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 同じ地域コミュニティの推進についてお尋ねをいたします。

予算の説明書によりますと、組織の活性化を担うリーダー的人材の育成とか、多様な主体が交流、連携できるよう、積極的に支援いたしますというふうな言葉が書いてございます。地域コミュニティは、自治会を含めていろいろな形で今までやってこられましたけれども、新味と

いいですか、新しい企画というのは何かお持ちでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（齋藤実貴男） 具体的にはまだ、また新年度になりまして検討させていたただこうと思っておるんですけども、やはり各自治会、自治会によって状況がかなり違うんですけれども、やはり高齢化を迎えて、自治会の運営、そういうのも今後どうなるのかという不安を持ってある自治会等もあります。その関係もありまして、継続した自治会活動をするための何らかの仕組みづくりとか、例えば人材の育成とかを積極的にやっっていこうということで考えております。

以上です。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じところに関する質問なんですけれども、当初予算説明資料の18ページの地域コミュニティの推進6,580万3,000円というのが、この18節に当たるところだと思うんですが、要求された資料でそこに当たるところが9ページにあらうかと思うんですけれども、この事業に係る予算は計上しておりませんと。ここはちょっと矛盾するんじゃないかと思って今話を聞いていたんですけども、つまり新たな事業、新たなというか、当初予算説明資料によると、積極的に支援していくというつもりはあるんですけども、何をするかは具体的に市役所側としては定まっていないので、予算は特別には計上していないということなんですか。逆に言うと、何かアイデアがあった場合には補正をするというふうに理解しておけばよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（齋藤実貴男） 確かに当初予算に計上しております助成金とか補助金につきましては、従来から自治会の運営に対しては必要な予算であります。こちらの予算資料にちょっと記載しておりますけれども、もちろん以前から相談業務というのを助成はやっておりました。今回、特に新たな積極的にというんですか、従来と違ったような形で、ちょっと前向きに助成をしていこうという考えがありまして、このような形で書かせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じく80ページ、2款総務費、3項徴税費、1目税務総務費、82ページまで質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） また001職員給与費の件についてですが、この件につきましてはほかの

事例と違いまして、実は令和3年度に比べて500万円の減額になっております。減額の根拠がおありになるんだろうと思いますので、お知らせください。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 減額の根拠についてお答え申し上げます。

ここに計上している費用に限ったものではないんですが、職員の異動、またその職員が給与を支払われている金額の多寡によりまして、若干の差が出ておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、2目賦課徴収費、84ページまでですね、質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 賦課事務費の委託料のところなんですけれども、土地鑑定評価業務委託料と路線価計算業務委託料なんですけれども、前年度に比べてこれかなり金額が上がっているんですけれども、その理由を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） 固定資産税の評価替えが令和6年度に行われます。これに伴いまして、土地鑑定評価の委託、それから路線価評価業務委託、これが令和5年1月1日現在で出すようになりますので、この分が3年に一回、どうしても多くなるというような形になっております。

以上でございます。

○委員（長谷川公成委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 今、長谷川委員が質問されたのと裏打ちしたような、同じような質問でした。令和3年度比で4,400万円の増というふうに、特に賦課事務費が切り替わっておりますので、その根拠をお尋ねしたかったんですが、今のところ、そういう評価の基準が違うということですので、了解いたしました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、84ページ、2款総務費、4項戸籍住民基本台帳費の1目戸籍住民基本台帳費、86ページ、併せて2目の住居表示費まで質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 87ページのコンビニ証明書発行手数料についてお伺いします。審査資料のほうは10ページです。

資料をいただいたんですけれども、コンビニ交付に関わる手数料収入と費用という形でいた

できました。かなりこれ、コンビニで証明書を発行するのはコストがかかるんだなというふう
に理解しております。しかしながら、これサービスということで、なかなかこれをやめるとい
うふうにはいかないと思っております。

これに関連して、もう一つ本市の場合はにしのまどぐちという窓口を、証明書発行の窓口を
開いております。月に第2、第4日曜日の午前中という形でやっておりますけれども、去年か
ら始まった制度ですけれども、こちらのほうの実施状況というのを分かる範囲で教えてくださ
い。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） にしのまどぐちの実施状況についてお答えいたします。

昨年6月13日に開設してから2月末までの累計で350件の利用があり、489枚の証明書を発行
しています。月2回、今委員おっしゃいましたとおり第2、第4日曜日に開設しておりまし
て、1回当たりの利用件数は19.4件、発行枚数は27.2枚、1日当たりとなっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） また関連しまして、ちょっと参考までに、分かる範囲で構わないんです
けれども、近隣市の状況、大野城と筑紫野市もたしか同じようなシステムで動いとると思いま
すけれども、分かる範囲で状況をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） 支所というふうな形で運営している状況でいきますと、筑紫野市につ
きましては、コンビニ交付を始めたことによって支所を閉鎖したというふうなことを聞いており
ます。あと、大野城市については、4か所のコミュニティセンターがございますけれども、そ
ちらを生かすために、コンビニ交付の予定がないというふうな形で聞いております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

じゃあ、笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今のところに関連してなんですけれども、予算審査資料、4か月分の数
字が出ていますけれども、歳入に関わることにはなってしまうんですけれども、今年度の手数
料収入というのはどれぐらいを見込んで予算編成を考えたのかということをお教えいただけれ
ば。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） コンビニ交付につきましては、1日当たり、現在11.7件の利用がござ
いますので、多くて20件の利用があるだろうというふうな形で見込んで予算を編成しておりま
す。

以上です。

○委員（笠利 毅委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 同じく003の住民基本台帳事務費の絡みですけれども、先ほどから手続の簡素化、直接コンビニを利用したりとか、そういった形でなっているということで、実はこの事務費が、令和3年度に比べますと2,300万円の減額になっているんですね。もちろん減額になっている理由はいろいろあるかと思いますが、先ほどの手続を簡素化することによって、こういう傾向があるのかどうなのか、ちょっと教えていただけませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（野寄正博） まだ数値的には、具体的にその効果がどういったふうな形で出るかというのが検証をしておりませんので、こちらの予算上の減額につきましては、マイナンバー事業費の減というふうな形になっているんですけれども、今まで国のほうにもらって、その分をJ-LISのほうに支払っていたというふうな分が減額になっているというふうな形になっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に行きます。

86ページ、2款総務費、5項選挙費、1目選挙管理委員会費、取りあえずそこまで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続きまして、2目の選挙常時啓発費、そして次のページもありますけれども、3目の参議院議員通常選挙費まで質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 選挙啓発費なんですけれども、費用というよりも、選挙啓発の事業としてどのように考えてあるのかということをお話していただきたいと思いますけれども、12月に行われた市議会議員選挙も投票率42%、あまり前回と変わらずというところだったんですけれども、投票に行きましょうというような啓発をしていただきたいと思いますということは、前からお話をしていたと思うんですけれども、選挙期間中もなかなかそういう声が届いてなかったように思いますし、また投票所の増設についても、今年も参議院選挙がありますので、そういうところに向けて今どのように計画をされているのか、そこを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） 選挙管理委員会の事務局長を併任しておりますので、私からお答えをさせていただきます。

まず、89ページの選挙啓発費の内容でございますが、こちらは例えばポスターの優秀者に対する図書カードの贈呈や、成人式の際の啓発品の予算を計上しておりますのでございます。委員の皆様から度々、投票率向上についてはご指摘をいただいているところでございます。

それから、投票所の数につきましては、本市の投票所は期日前1か所、当日9か所を今回も予定しております、これは市域3.3km²当たり1か所ということで、有権者6,500人当たり1か所の設定となっております。これらの値につきましては、近隣の中におきましても遜色ないと思っております、選挙管理委員会といたしましては、市の規模から申し上げて、今のところ適正であると考えております。

なお、投票率でございますが、例えば令和3年度執行の衆議院議員の選挙におきましては、県内平均を上回る投票率でございます、1か所当たり投票所増設に係る費用負担のことを考えますと、現時点では妥当なところであろうと考えております。

しかしながら、全体的な投票率は下降傾向でございますので、ご指摘も踏まえて、委員会として議論を重ねていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

そしたら、馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 今の質問の続きなんですけれども、遜色ないとおっしゃっていただけけれども、何かアンケートとかそういったのを取られているんですか、有権者の方に。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） これまでアンケートを実施したことはございません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） じゃあ、その遜色ないというその理由というのは、どういったことからおっしゃっているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） 面積当たりですとか投票所当たりの人口において、遜色がないという意味でございました。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 太宰府というところがなかなか地形的に、結構山だったりとか、そういった遠隔地とかあるんですけれども、もちろんそういった総合的なデータとしてはそうなんですけれども、実際に各地域で、地域ごとのそういった投票率というのは、選挙区ではなく、地域での投票率とかそういったのは集計とかされているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） 投票所ごとの投票率についても集計はしております。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 投票所ごとではなく、地域ごとですね。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） データにつきましては持っておりますので、すぐに分析

できるものと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 分かりました。ありがとうございます。じゃあ、また拝見させていただくと思います。よろしくお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） やはり選挙啓発に関する事なんですけれども、今18歳選挙権ということになっているので、これは太宰府市単独でやるべきことなのか、もう少し県単位等で考えるべきことなのかという議論はあろうかと思うんですが、先ほどの何に使うかということで、成人式啓発、成人式での啓発費をここは入っているということでしたけれども、18歳の人に対して効果的に啓発をしていくということについて、市での議論もしくは県との調整等、何かしらそういうのがあれば教えていただきたいです。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） 若年層に対する啓発、非常に大事というふうにかけておられて、現在やっている取組としましては、小学校の授業で選挙の大切さについてを取り扱っていただけるように、学年を通じて冊子などを全員配布をしておる状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 高校生対象ということになるので、市として難しいのかもしれないんですけども、何らかの、それこそ17歳、18歳に向けてのというものは何かしらあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（川谷 豊） 生徒会におきます模擬選挙などで市の投票箱を貸出ししたり、そういった取組はしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 頑張ってください。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、90ページですね。衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費、併せて市長及び市議会議員一般選挙について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、90ページ、2款総務費、6項統計調査費、1目統計調査総務費、2目基幹統計調査費、取りあえず90ページまでですね、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、92ページ、2款総務費、7項監査委員費、1目監査委員費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前11時06分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時15分

○委員長（陶山良尚委員） 休憩前に引き続き会議を再開します。

92ページ、3款民生費、1目社会福祉総務費、95ページまでですね、質疑はありませんか。森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 教えていただきたいのですが、総務費自体は令和3年度に比べまして1億9,200万円の増ということになっております。そのうち、細目006の国民健康保険事業特別会計関係費ということが1,800万円のマイナスになっておりますけれども、これはどういった理由でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） お答え申し上げます。

こちらの国民健康保険事業特別会計関係費でございますが、増減の部分でありますと、基盤安定制度繰出金というのと通常の繰出金というのがございまして、基盤安定制度繰出金につきましては前年度に比べて合計で916万9,000円の増、併せて繰出金分につきましては2,778万4,000円の減となっております。

増の要因につきましては、基盤安定制度繰出金のうち税の軽減分、未就学児の5割軽減の部分の繰出金、一般会計、国保特会への繰出金が増の要因となっております。逆に、繰出金の減の要因でございますが、国保特別会計のほうで職員給与費の減、出産育児一時金の減、それから改正安定化支援の減と、あとその他の減と合わせてトータルでその減額の金額となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細目005地域福祉関係費だったと思うんですが、今コロナ自宅療養者等食料物資支援事業が3月31日で終了ということで、これ当初予算では入ってこないんですね。継続はもうしないということなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（江坂研治） 令和4年度につきましては、新年度第2号補正のほうで今のところ300万円を予定いたしております。

○委員（小島真由美委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、96ページ、2目の老人福祉費について質疑はありませんか。98ページまでですね。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 細目で004敬老事業関係費の中の7節敬老の祝い、これ対象者が77歳、88歳、99歳だと思うんですが、今年はその対象者は何名ぐらいになるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 令和4年度は88歳、こちらが431名、99歳が48名、それから100歳の方が30名の予定で計算しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 77歳、喜寿はないんですか。対象じゃない。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） この敬老祝いのほうは88歳、99歳、100歳になっております。77歳と言われるのは、敬老事業費のほうは77歳以上の方を対象にしております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） これはお祝い金ですか、それとも商品カタログでしたっけ。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 敬老祝いのほうは、88歳、99歳の方につきましては1万円相当のカタログギフトになっております。それから、ちょうど100歳の方に対しては2万円の現金になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 教えてください。細目の001の老人福祉センター管理運営費の14節の工事請負費の施設改修工事、この内容を教えていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） こちらのほうは、もう築45年を経過するぐらいになっておりまして、老朽化がひどく、雨漏りなどの屋根、それから外壁防水工事などになっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。老朽化はよく分かります。毎回これ、改修工事

がいつも出てきている老人福祉センター、全体的にどういうふうに関後市は対応されるおつもりなのか、ご検討されていますでしょうか。毎回の改修工事費で対応していくという方向性で考えておってよろしいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（行武佐江） 市全体的な公共施設の見直しについては、また話し合われると思いますので、老人福祉センターにつきましては、お風呂とかもありますので、そういうところを含めてこういう施設の改修工事を続けてやってまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。改修工事費については分かりました。

ただ、個別計画もしっかり充実を図っていただかないといけないと思っておりますので、その点要望しておきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 99ページの細目006地域密着型施設等整備補助金でこの8,300万円、今何件ぐらいになったんでしょうか。こちらの職員さんたち、これは太宰府市の市民が行くところなんですけれども、ワクチン接種の状況、職員さんたちの状況とかというのは分かりますかね。

○委員長（陶山良尚委員） 介護保険課長。

○介護保険課長（立石泰隆） 地域密着型施設の数なんですけど、数的には、業種ごとに数のほうがかなりあります。

○委員（小島真由美委員） 全体でいいですよ、分けなくても。

○介護保険課長（立石泰隆） 15施設になります。

ワクチン接種については、国のほうから高齢者施設入所者、入所されている方の優先接種の中で、従業員の方も一緒に接種ということになっていまして、3回目の接種については、ちょっと手元に数字を持っていないんですが、約3分の2ぐらいが終わっているというふうに聞いております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じ98ページ、3目障がい者対策費について質疑はありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 障がい者対策費も含めて、4目まで行っていいですか、4目の支援のほうまで。

○委員長（陶山良尚委員） いや、まだそこはまだ行ってないですね。

○委員（原田久美子委員） そこは行ってない。たら、そこで聞きます。

対策費としてなんですけれども、障がい者のグループホームというようなことで、そういうふうな施設とかに対して推進されるつもりがあるのかだけ聞きます。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） お答えいたします。

障がい者の受入れをやっているグループホームのことでのご質問だというふうに思っております。基本的に県のほうからの許可を得て施設をつくられるというところで、利用される人数というのは年々増えているというふうには思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 002の療育事業推進費の中の報償費、療育支援専門員についてなんですけれども、審査資料10ページで資料をいただきました。療育支援専門員さんの勤務体制なんですけど、ここの療育支援の相談、専門員の方を常駐でというような話をこれまでもさせていただいたんですけども、言語聴覚士、それから臨床心理士の方も週5日間勤務ではなくて、週3回、週2回、臨床心理士については火水木金というふうに交代で配置されているような状態なんですけれども、これは5日間勤務体制に変えるというような方向性はあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 相談につきましては、全体的には増えている状況もございます。

ただ、波もありまして、多いとき、少ないときということもありますので、今のところ、曜日はこのとおりなんですけれども、多いときにもう一日増やす、減らす等を調整しながらやっていっている状況です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

それでは、同じ98ページ、障がい者自立支援費、102ページまでですね、質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） これも教えていただきたいのですが、001障がい者自立支援給付事業費と、それともう一つは、004障がい児通所支援給付関係費ということで予算のほうを拝見させていただいていますけれども、001のほうが昨年よりも1億800万円ほど増えておりますし、それから障がい児のほうが7,000万円ほど増えております。漠然とした数字としては分かるんですけれども、これは対象となる障がい者が増えていったのか、あるいは障がいの給付メニュー

が増えていったのか、そういった要素というのが分かりましたら教えていただきたいのです。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） お答えいたします。

001の障がい者自立支援給付事業費の中で申しますと、101ページの上段にございます介護訓練等給付費、この給付費が大きくこの額を上げているという要因でございます。対象となります障がい者の方が増えているかというところでございますが、特に身体障がい者の方というのは特に増えておりません。それから、療育の方も特に増えてないんですが、一番大きく増えているのが精神の障がいを持たれている方、その方が増えているというところで、この給付費が上がっているという状況でございます。サービス内容については特に変わってはおりませんので、この対象となる方、特に精神の方が増えているというところでございます。

あわせて、103ページにございます004の障がい児のところも同様なところであります。この障がい児につきましては、児童福祉法のほうに基づく対応ということになりますし、手帳のあるなしに関わらず、その傾向が見られる児童がいらっしゃれば、放課後デイサービスだとか児童発達の相談だとかというサービスを受けることができるというふうになっておりますので、この対象となる児童の方もかなり増えているというのが要因だというふうに判断しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

そしたら、小島委員。

○委員（小島真由美委員） 101ページの003障がい者地域生活支援関係費の中で、2つお聞きいたします。

まず、地域連携推進マネジャーは何人いらっしゃいますか。

それと、12節の委託料の移動支援事業の委託事業者、また日中一時支援事業の委託事業者、訪問入浴事業の委託事業者、ここは何件ほどあるのか、またここは兼務というか、同じところがこの3つの事業をやっているのか、ちょっとその辺の具体的事業所の関係を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 1点目、地域支援の支援員というところですが、この中では、すみません、人数というのはちょっと把握してないところなんですけど、市としてそういった方を任用しているというのはございません。

あと、事業所の数でございますね。具体的なおとこ、すみません、再度確認でございますけれども、各サービスごとの事業所数でよろしかったですか。

○委員（小島真由美委員） はい、それでもいいです。

○福祉課長（井本正彦） それぞれ市内に計画相談だとか移動支援というところのサービスというところですね。であれば、同行援護をされている事業所は4か所でございます。

以上でございます。すみません、この回答でよかったですか。

○委員長（陶山良尚委員） 日中一時と訪問入浴。

○福祉課長（井本正彦） それから、訪問のところでございますが、居宅介護をしているところでございます。10か所ございます。それから、重度の訪問介護をしてある事業所が8か所。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか、それで、回答は。

○委員（小島真由美委員） 訪問入浴もそこがされているということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） すみません、訪問入浴がございました。訪問入浴をしている事業所は1か所でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。地域連携推進マネジャーというのは、発達障がいとか、今医療的ケア児とかの協議の場を設定をしないといけないというようなことで、教育機関との連携とかを図る大事な推進マネジャーを市で設置しないといけないわけなんですけれども、福祉機関と教育機関との連携の役割というのは、要するにそしたら地域連携推進マネジャーがないということになるということなんでしょうけれども、これはもう要望で結構なので、検討してください、早急に。

すみません、以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 99ページ、障がい者自立支援給付事業費と103ページの障がい児通所支援給付関係費です。予算説明資料が13ページの一番下ですね。

その中でこれ、給付費について、請求審査事務の適正化及び効率化を図りますとなっております。これ、2つの事業を合わせたら17億円と巨額な予算でありまして、年々増えていっているのを我々議会議員としても非常に注視しておった、心配しておったところでなんですけれども、これ、どういうふうに適正化を図るかというたら、請求審査事務の適正化及び効率化ということで、なかなかこれ、机上のチェックだけでは分からないところがあるんじゃないかと思っております。ちなみにこの両事業の許認可は福岡県だと思んですけども、なかなか現場の状況が分からない中で、請求だけでこれ審査するのは非常に難しいと思われるんですけども、こちら辺、しっかりこれチェックするためにはどういうふうにされるのか、具体的にご説明をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） この給付の分ですね。給付分というのがかなり増えてきているというところでございまして、審査に要する時間もかなりかかっているというのが現状でございます。このために、ページ戻りますが、99ページのところに001障がい者自立支援給付事業費の中で

ございます、障がい福祉サービス給付費請求審査ソフトというものを今回新規で購入するようにしております。これを入れることでどこまでその精度が高まるかと、審査がスムーズにいくかというのちょっと疑問視するところではありますが、こういったものを取り入れながら、職員の負担を軽減すると、ひいては中身の精度を高めていくということを今は対応していくというように考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 簡単に言ったら、このソフトで不自然な請求をはねるところでということですね。でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） そのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） やっぱり現状、これ、請求だけのペーパーだけ、データだけ、数字だけじゃあ分からないところがあると思うんで、これ、恐らく現場というのは福岡県だと思いますが、そこら辺、県との連携をしたところで、現状を把握したところでのチェックというのを重ねられたらいいと思いますけれども、そういう動きはないのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 県のほうから事業所を新しくする場合においては、意見書を求められるというところでありますので、そういった意見書の中に、現状ということも県のほうにはお伝えをしているというようなところであります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

入江委員。

○委員（入江 寿委員） すみません、103ページの4目003。

○委員長（陶山良尚委員） 004。

○委員（入江 寿委員） 003で軽度・中等度難聴児補聴器購入助成金について聞きたいですが、補聴器はピンキリあると思うんですけれども、この助成金のシステムについてちょっとお伺いしたいです。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（井本正彦） 軽度・中等度の難聴児の補聴器の購入でございます。こちらのほうは、18歳未満の方で聴覚の聴力レベルの基準がございまして、それを下回る方に対して補聴器購入の3分の2を助成するものでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、続きまして102ページの5目の援護関係費、6目重度障がい者医療対策費、併せて7目のひとり親家庭等医療対策費まで質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じく8目の後期高齢者医療費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、104ページ、9目国民年金費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、10目人権政策費について質疑はありませんか。106ページまでですね。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、進みます。

106ページ、11目の人権センター費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、108ページですね、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目の児童措置費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、110ページ、3目の教育・保育施設費について質疑はありませんか。112ページまでですね。

よろしいですかね。

そうしましたら、申し訳ないです。111ページですね、細目002市立保育所管理運営費の中に保育業務委託料が補正予算のほうに入っておりますので、これについても質疑を受けたいと思っております。ありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 113ページ、18節、ICT化推進事業補助金、保育所の。予算が975万円組まれているようですが、具体的な中身について、市内の保育所のICT化を業者を一本化するんですかね。具体的にちょっと教えていただいたら。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） お答えします。

市内の認可保育所のほうに補助するものでございまして、施設は13施設ございます。統一したシステムを入れるということではなく、各施設のほうで入れるシステムの導入費に対して補助を行うものでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 各施設に対して補助を行うということですね。

それと、上のほうにあります保育所等整備交付金、この後120名規模の保育所を予定だと思わうんですけども、今年度の待機児童数とか、この新しい保育所ができた後の待機児童数であるとか、市としてはどういうふうな検討をされているのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 今年の4月に小規模保育園が五条のほうに新設されることとなっております、3歳未満児の定員が19名増えることになっております。また、企業主導型との連携というのを強化して、地域枠のほうを確保したいというふうに考えておまして、あくまでも見込みでございまして、待機児童のほうは昨年74名でしたが、令和4年度については42名ぐらいに減るのではないかとというふうに考えてはおります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 新しい認可保育所ができた後の待機児童数はなくなると思っていんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 令和5年4月には新しく保育園もできますので、令和5年4月には待機児童を解消したいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 審査資料を出していただきまして、11ページなんですけれども、今の保育所の定員数と入所児童数というところを出していただいて、認可保育園は1割近く上乗せしたところでの入所児童数、受入れをいただいているところなんですけれども、今企業主導型の保育施設もちょっと太宰府市内で増えてきていまして、今年度の10月ですかね、新しく開所した保育園が大佐野のところにあると思うんですけども、それが一番下の企業主導型保育施設の枠の一番右のいなほ保育園だと思うんですけども、ここは定員80人で地域枠最大40人、それに対して入所児童数が20人ということになっているんですけども、この点は今後、受入れが進んでいくというようなお話はあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 昨年10月に新しくできているいなほ保育園、企業型保育園ですけれども、保育園さんのほうと今協議といたしますか、お話をさせていただいている中で、当初保育士確保のほうに難しいという状況がありましたけれども、4月に向けては保育士のほうも確保できているという話も聞いておりますので、受入れのほうの数を増やしていただきたいというふうにお願いをしているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 待機児がなかなか減らないということでも、ゼロを目指してあるということなので、認可だけじゃなくて、届出、それから企業主導型の園のほうとも情報を密に取って、連携して、できるだけ保育所に受入れの数が増えるようお願いしたいと思います。要望です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

じゃあ、まず徳永委員から。

○委員（徳永洋介委員） すみません、さっき聞き忘れたんで。新規採用者の家賃助成事業ですね、これは今何名の方が助成事業を受けられているのか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 令和3年度は11名の方でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 待機児童の関係で、ちょっと重ねてお伺いします。

審査資料は10ページです。そこに待機児童、入所保留児童の定員増の推移ということで表をいただいておりますけれども、今課長がご答弁いただいたとおり、待機児童は42、令和4年度見込みなんですけど、入所保留数というのが216というのがあるんですけども、ちょっとこの数字の違いを改めてお聞きしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 県のほうに毎年報告しております待機児童数というのが、4月1日基準になります。入所保留というのは、4月2日以降、年度途中で入所を希望されたりする方を含めると、この入所保留児童ということになります。その違いです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら、先ほどお答えありましたとおり、令和5年には120人規模の新設保育園ができるということですけども、これ、4月1日以降、年度を通してみるとかなり年度の途中でも待機児童が出てくるとなると、120人規模の新設園ができたとしても、令和5年4月には解消しますというのがなかなか言いにくいところじゃないかと思うんですけども、これは令和5年4月に解消という形でもう情報発信してよろしいんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 解消と言っているのは、この待機児童、いわゆる県報告の4月1日時点の待機児童を解消するということで今ご説明しました。確かにご指摘のとおり入所保留児童というのは200名を超えていますので、そこをできるだけやっぱり減らしていかないといけないというふうには考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

そしたら、森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 関連でございますが、入所保留ということになって、その方が市の認可保育所に通わないで、無認可のところに通っていらっしゃるとか、そういう全くフリーで待っていらっしゃるということではないという気もするんですけども、その場合に埋め合わせとして、その待機児童支援費補助金というメニューがあると思うんですけども、そうしますと、ここに出されている数字は348万円余の予算が立てられておりますけれども、その入所保留数と言われるものと計算した場合に、十分これで間に合うという形で計上されていらっしゃるかどうか、ちょっとそのあたりだけ確認だけでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） おっしゃられるように届出保育所、認可外保育所のほうに行かれています。今、幼児教育の無償化といいまして、3歳以上のお子さんについては無償化されておりますので、今回補助対象にするのはゼロ、1、2歳で認可保育所よりも余計にかかっている方を対象にしております。

以上です。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、111ページの003教育・保育施設費についても質疑があった項目がありますけれども、補正予算の中に計上されてありますので、その分も含めて質疑があればお受けしたいと思います。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、続きまして112ページ、4目学童保育所費について質疑はありませんか。これについても学童保育所管理運営費について補正予算で上がっておりますので、併せて質疑があればお受けしたいと思います。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 学童保育所についてですけども、審査資料12ページ、いただきました。現在、保育の利用者が、児童が増えれば学童も増えるというふうなイメージでいたんで

すけれども、利用児童数が定員を割っているところも若干あったりだとか、あと、やっぱり水城学童のほうが3か所設置されていますけれども、3か所とも定員を超えているというような状況が分かりました。

それで、学童保育でも特別支援学級や、それから通級に通っているお子さんもいらっしゃると思うんですけども、先ほどの話にもありましたけれども、放課後デイサービスなどを使うお子さんが増えたということで、学童での利用が少なくなっているんじゃないかなというふうにちょっと感じたんですけども、その点はどのような推移があるのかということと、実際に学童を使っていたほうが、放課後デイなどを使うよりも、やはり市としての持ち出しが抑えられるとかということにもつながってくるのではないかなというふうに思うんですけども、その点いかがでしょうか、お聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 支援を要するお子様の学童保育所の受入れにつきましては、令和3年度でいいますと約26名のお子さんを受入れしている状況であります。その場合、指定管理者のほうで加配の支援員さんというのをつけていただいています、そういったお子様も受入れするようにはしております。放課後デイとはもちろん連携といいますか、連絡を取り合いながら受入れをしているような状況でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 傾向としては、保護者さんはやはり放課後デイのほうを選ばれる方が多いというような感じなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 実際にそこまで詳しくお話は何ってはないですけども、学童をもちろん利用したいという保護者の方もたくさんいらっしゃいますので、受入れをするようにはしております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 補正予算のほうに関わることだと思うんですけども、これ学童保育所だけではなく保育士も含めての話なんです、国のコロナ克服・新時代開拓のための経済対策による処遇改善というものが補正予算のほうで出ているかと思うんですけども、たしか9月までの額だったと思うんですよね。10月以降について、現時点で市がどのように考えているのかとか、あるいは場合によっては、国の予算が切られた場合にどう対応していくというような話をしているのかとか、その辺の現時点での見込み等を教えていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） 今回の処遇改善につきましては、国の制度において令和4年度以降

も引き続き賃上げ効果が継続される取組ということにされています。今おっしゃられたように、4月から9月までの間は国の10分の10の補助で事業を行いまして、10月以降につきましても、公定価格の見直しによって、いわゆる運営費の中に含むような形でこの処遇改善を継続するというふうな仕組みになっております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、この処遇改善のお金が今回委託料と補助金と2つに分かれて出ていますけれども、将来的には委託料のほうに一本化されるような形で計算されるだろうというふうに理解してよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（大石敬介） そのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じページですね、5目子ども医療対策費、次のページまでですね、質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 扶助費の子ども医療費が減額になっているんですけれども、子ども拡充分医療費も、前年度に比べてこれも減額になっているんですけれども、その要因を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（山口辰男） お答えいたします。

子ども医療費のほうの減額でございますが、これは令和2年度の決算及び令和3年度の決算見込みによりまして、令和4年度の推計値を出した上で、子ども医療費につきましては前年度比2,650万円の減とさせていただいております。子ども拡充分の医療費につきましては、前年度同額とさせていただいております。

原因につきましては、コロナ禍によって受診控え等がございまして、令和2年度、令和3年度と医療費の決算額が下がってきたわけでございますが、最近、令和3年度に入りまして、ほぼ令和元年度以前の数値に近づいてきておりますので、その分を見込みながら2億2,000万円の予算を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、114ページ、6目家庭児童対策費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項生活保護費、1目生活保護総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そうしましたら、118ページ、2目扶助費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 続きまして、同じページですね、4項災害救助費、1目災害救助費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) そうしましたら、120ページ、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 121ページ、細目002健康づくり推進費、健康づくり奨励品が800万円。昨年1,000万円あったと思うんですが、200万円減額になった理由をお聞かせください。

○委員長(陶山良尚委員) 元気づくり課長。

○元気づくり課長(安西美香) コロナ禍でいろいろな事業が、特に自治会等の事業も含めまして若干縮小傾向にございますので、前々年度からの決算額等も考慮いたしまして、実質に合わせた形で計上しております。

以上です。

○委員長(陶山良尚委員) 橋本委員。

○委員(橋本 健委員) それで、これは健康診断の受診率アップが最大の目的だと思うんですけども、令和3年度は締切りまだですよ。令和2年度の状況、どれぐらい、1,000ポイント、2,000ポイント、3,000ポイント獲得された対象者、それからお米も何かもらえるという、ちょっと状況についてお聞かせください。

○委員長(陶山良尚委員) 元気づくり課長。

○元気づくり課長(安西美香) ポイント獲得者につきましては、令和2年度についてもコロナ禍ではありまして若干の減少は見ておりますけれども、1割ぐらい減った程度で、減った割には3,000人近くまで事業の参加者がいらっしゃった状況にはなっております。

○委員長(陶山良尚委員) 橋本委員。

○委員(橋本 健委員) それで、これはずっと継続した事業なんですけれども、いろいろ改善する問題点が出てきていると思うんですよ。令和4年度、新年度については何か改善点はございますか。やはり受診率を上げることが一番の最大の目標だろうと思うんで、何か改善点がございましたら教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） ちょっとここ2年間ばかりがコロナ禍に入っておりまして、それ以前の状況と比較しまして、ちょっと大きな改善等はまだ考えておりません。ただ、健診につきましては、ポイントのつく事業でありますので、もちろん集団健診の会場であるとか、カードをもらいに来られた方に対して、お米までいくためには健診が必須であると啓発を今進めているところではあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうでしたら、次のページ、122ページ、2目保健予防費について質疑はありませんか。126ページまでですね。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねします。

この保健予防費の中で、004予防接種費というのと006新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費というワクチン接種についてといいますか、接種につきましては2つの項目が分けてございます。それで、まず1点質問したいのは、令和2年度では各項目別に、例えば企画総務とかいろいろところで十何か所ぐらいでこのコロナ対策、新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費ということで予算立てが令和2年度はされておりました。それが令和4年度にはその関係は、各課といいますか、各項目への振り分けがなく、この保健予防費という中に集約をされているようなふうに見受けられますが、それで間違いないのでしょうか。

それと、それからもう一点は、004の予防接種費ですけれども、これは新型コロナウイルスワクチン接種とは違うものとして捉えますけれども、令和3年度と比較しまして1億900万円の減額予算が立てられております。感染の関係とか、そういった発症率といいますか、その必要性がなかったかというふうな判断でこういうふうになったのかどうか、その2点を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） まず、前後しますけれども、004の予防接種費につきましては、コロナ以外の、元気づくり課のほうは成人の関係の予防接種の費用等が含まれております。高齢者のインフルエンザ、それから肺炎球菌の予防接種、それと今、風疹の抗体検査と接種費用というところが入っております。昨年までは母子保健のほうとも一緒の課でありましたので、その母子の分もこの中に含まれていた関係と、あと少しコロナ関係でどのように予防接種費が動くのかというのが、インフルエンザ等も増えるのではないかとこのところを見越していたんですけれども、成人だけで見えた場合に、接種自体は実質に合わせたところの決算額で調整して、若干の減額が出てきていることが予算減額の要因になっております。

それから、006の新型コロナウイルスワクチン接種の事業関係費につきましては、純粋なワクチン接種に関わる体制の整備であるとか、あとワクチン接種の委託費用であるとか、そのあ

たりを元気づくり課のほうで組んでおりますけれども、新型コロナに関する感染予防の対策等につきましても、例えば今度の2号補正でありますとか、新年度の補正予算等のほうにも入ってきているところで、あくまでも006は純粋なワクチン接種に関わるための費用が計上されております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） そうしますと、このあたりは少しほかの、令和2年度はかなり接種事業だけでなく、その関係費といいますか、それぞれの部署でいろいろ準備をされたり、そういったことも含めた形で予算立てがされていたような気がいたしますので、今回、今おっしゃったのは、あくまでも接種に関わる予算としての金額で、補正を含めまして、それで今年度はやられると。この関係は、例えば3回目の接種とか、それから5歳から11歳児の接種とか、こういったものが対象だというふうに理解してよろしいわけですね。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 委員のおっしゃるとおりでございます。3回目接種が9月30日までということと、あとは5歳から11歳のお子さんが新規に増えたというふうなところも含みましての予算になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今のに関連するところなんですけれども、006新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費、今お答えになったとおりでと思うんですけれども、これこそ資料をいただければよかったと思うんですが、もう一回確認します。

これ、3回目接種ですよ。あと若年層の3回目、あと5歳、11歳を接種、これは1回目ですよ。最近、4回目という話も出てくる中で、今回、もう一回改めてちょっと詳しく。この令和4年度の新型コロナウイルスワクチン接種事業費関係費、ちょっと詳しくそこら辺、もう一回お答えいただきたいんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 太宰府市の場合は、どの年代層につきましても集団接種と、あとお子さんにつきましては、基礎疾患のあるお子さんとか就学前のお子さんにつきましては、小児科の先生方等の医院のほうでも接種できる体制を少しずつ整えていっているところです。そのあたりの委託の費用であるとか、あと集団接種会場に整えるといいますか、会場の借り上げ料であるとか、あとそこにも先生方に来ていただいておりますので、接種に関わるスタッフの費用であるとか、中の受付等の運営の費用等、接種の体制に関わる部分と、あと接種そのものの委託料、接種1回に対して幾らというような部分であるとか、先生方に出てきていただくところ

ろの報償費等、体制確保と接種そのものの委託料というふうな形の2本立てにはなっておりません。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これ、なかなか言葉で聞いてもちょっと頭に残らないんですけども、ちなみに新型コロナウイルス対策会議等でまた詳細に、年度当たりの月割りの工程表あたり、あと数字的なもの、接種の目標とか、そこら辺、資料あたりはその対策会議あたりで我々にもいただけるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部長。

○総務部長（山浦剛志） 新型コロナウイルスの対策に関しましては、私どものほうで定期的なこれまでご報告をさせていただいていたと思いますので、その中でまた必要に応じてご報告は当然させていただくことになろうかと思っておりますので、その際、何かもしこういうことが聞きたいということがありましたら、議会事務局等を通してご連絡いただければ、私どものほう準備はさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、125ページ、006新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費なんですけれども、ちょっと確認ですね。7節報償費の医師等謝礼とあるんですけれども、これはもう純粋に謝礼のみですかね。手数料とかその他関わる経費に関しては、委託料とかのほうに入っている感じになるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） この部分につきましては、純粋な報償費になっております。出てきてくださっている時間に対する報償費になります。

○委員（タコスキッド委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 同じく需用費の印刷製本費なんですけれども、今回5歳から11歳の方に初めて接種券の表を出されたと思うんですけれども、その中に市役所が出されている、3月27日だったかな、集団接種を行いますということで書いてあって、保護者の方が27日に集団であるんだというような誤解を招いてあるんですよ。そういった電話が多々、多かっただろうと思っておりますので、それについてどんなふうなのか、ちょっと回答をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 開始時期等につきましては、なかなかぎりぎりです決まってきた経過もございまして、一応その日からスタートということで書いてはいたんですけども、説明文としては、一応その中に、いつからどのようにしてというふうな中身もつけていたところがあります。ただ、確かに誤解も幾つか招いて、コールセンターのほうへのお問合せとか、保健センターのほうにも数件お問合せは入っていたところではありますけれども、一応丁寧な説明をして、お問合せがあった分についてはご納得はしていただけたかと思っております。

またそして、ホームページ等で集団接種の申込みの仕方等については随時、新しい情報を今更新していているところです。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 今言われたように、集団接種ということになると、どこかに集まって全員が来るんだって、昔のインフルエンザとかそういうのを学校で、私もですけども、ほかの方もされたら、集団接種というのはそういうふうに誤解を招きますので、今回そういうふうなコロナウイルスの1回目につきましては、もう個別接種ですよということをきちんと書いておいてほしいなということをお願いしたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

○元気づくり課長（安西美香） すみません、今の件で。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 集団接種と個別接種の併用にはなる予定ですので、集団接種もお子さんについてはございます。なので、集団接種もあるということは間違いではございません。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） それはどういうふうな集団ごとにされるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 形としては大人と同じような形なんですけれども、とびうめアリーナのほうで、一応対象年齢としましては、就学されているお子さん以上というふうなことで、6歳以上の方、11歳までの方と。基礎疾患がある方と未就学のお子さんについては、基本的には医療機関のほうで受けていただくようにはなっておりますけれども、兄弟児さんとかご事情には合わせていきながら、ご希望がなるべくかなうような形というふうに考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 保護者につきましては、集団接種といたら、もうその学校に来てくれるというような頭があるもんだから、いつ、どこで、学校ごとにするのかなというような、今小学校1年生から中学生までの生徒につきましてはそういうふうな誤解があったんですよ。分かりますよ。集団接種というのは向こうとこっちに、だから行くんですよということを、その表をもらったら、その子どもさんたちは、もう学校が平常時は行かれませんので、土曜日、日曜日、祝日になりますよとか、そういった具体例を書きいただかないと、二十何日までにそこそこの接種場に行ってくださいということをちょっと書いてもらうだけで、誤解は免れたんじゃないかなと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） すみません、通知を出した時点では、1回目の接種の日付等のみ

が決まっておりましたので、それ以降についてはまたお知らせといたしますか、ホームページ等でお知らせをしますというふうな通知を書かせていただきましたけれども、確かに昔、予防接種というのは体育館等であっておりましたので、分かりにくい書き方にはなっていたかなと思います。

今、実際ホームページ等からご予約をいただいております、初日の1回目の集団接種の枠は既に埋まっているところです。随時また2回目の接種以降を開けていく予定にはなっております。日にちは、4月分等につきましてまでは、予約の日にちは分かるように、今ホームページ上では開けてあるところですが、予約開始日は埋まり方の状況を見ながら随時開けていくようになっております。

○委員長（陶山良尚委員） お諮りしますが、保健衛生費まで、6目を終わらせたいんですけれども、よろしいですかね、もう少し。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、よろしいですかね、保健予防費、2目はよろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 125ページ、005高齢者健康づくり推進費についてお伺いします。

説明資料は13ページの上から4番目です。令和3年度予算が476万1,000円、今回1,000万円増えて1,459万円ぐらい、かなり大きく増えています。この予算の内訳を見ると、1,000万円近くがほぼほぼ人件費であるんですけれども、これ、説明資料のほうには高齢者の健康寿命の延伸を目的として、高齢者が集う通いの場等への積極的に関わりを展開しますということですが、これ具体的にはどのような取組で1,459万円と上げてあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） この事業につきましては、国の推進の下、後期高齢者広域連合さんからの事業を市が委託するような形で行う予定になっております。今年度、実際10月から地域のほうにも少しずつ入っていった状況で、この事業の人件費としましては、必ず地区に入って分析をしながら、その地域の健康づくりを考えていきなさいということでのその調査であるとか分析をする保健師等の人件費、それと地域に実際に入る専門職、管理栄養士であるとか、そこについての人件費等が委託料の中で計上をされているところです。

中身としては、ポピュレーションアプローチといたしまして、元気な高齢者の方をより元気にということで、通いの場等でフレイル予防の話を高齢者支援課等とも協力しながらやっていく計画になっておりますし、あとハイリスクアプローチとしまして、今特定健診、保健指導ということで、74歳までの国保の方について、例えば糖尿病のある方とか、腎臓が悪い方等が対象になっていらっしゃるものが、後期高齢者についても広域連合さんから健診のデータ等をいただいて、またアプローチをかけていく予定になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もっと簡単に言うと、これ、有資格者の方がある程度チームをつくって各地域に入っていくというイメージだと思うんですけども、ちなみにこれ、もう既にこれ実施する計画あたりはどのようなふうにできてあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 計画書等につきましても、広域連合のほうに必ず提出が義務づけられておりますので、初年度は市内を4か所に分けまして、中学校単位で3か所、太宰府中学校区が去年としたら1か所増えますけれども、あと東中学校区、学業院中学校区の3か所。

（「もう少しマイク近づけて」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 聞こえません。そしたら、もう少し大きな声をお願いします。

○元気づくり課長（安西美香） すみません。令和6年度までには全地域というふうな計画が立っておりますけれども、令和4年度につきましては4地域のうちの3地域というふうな形で入っていく予定になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、3目母子保健費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 母子予防接種費の内容について教えてください。

（「予防接種の内容」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） もう一回いいですか。

○委員（長谷川公成委員） 母子保健費よね、委員長。

○委員長（陶山良尚委員） そうです。母子保健費ですね。

○委員（長谷川公成委員） ですね。129ページの004母子予防接種費の内容ですね。コロナワクチンならコロナワクチンと書いてあるけれども、書いてないので、何かなと思って質問させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） こちらは母子予防接種ということで、乳幼児に対して予防接種を行う分の予防接種費用になっております。3種混合等をはじめましてロタウイルス等、多数の予防接種を行う費用になっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

そしたら、森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 先ほど、実はコロナと、それから一般の予防接種と2つの区別でお話を

伺ったんですけれども、そうしますと、この母子保健のほうで予定をされている予防接種というのは、コロナとは全く違う形のをそこで運用されるという、そういうふうに理解すればよろしいですね。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（松田勝実） お見込みのとおりでございます。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目環境衛生費について質疑はありませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、続きまして5目公害対策費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 公害対策費の18節負担金の2番目、福岡空港住宅騒音防止対策事業補助金と、次のページ、131ページの一番上の住宅騒音防止対策工事等住民負担額補助金、これ新しく上がっていると思うんですけれども、この内容についてお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 福岡空港住宅騒音防止対策事業補助金につきましては、空港周辺整備機構が補助しているもので、地区としては水城一丁目、二丁目の一部が対象地域となっておりますけれども、以前防音対策ということでエアコンとかそういったものをつけられた方が、10年以上たって更新とかする場合に、その設置費用の一部を補助するものとなっております。

それから、住宅騒音防止対策工事等住民負担額補助金、こちらにつきましては、もしつけられる方が低所得者の場合に、そちらの住民負担分の一部を補助するものということになっております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目、130ページですね、環境管理費について質疑はありませんか。

そしたら、森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 002地球温暖化対策費についてお尋ねをいたします。

ここでは、特に地球温暖化対策推進補助金として800万円を予定しているというふうに記載がございます。それで、予算説明の中で、いわゆる脱炭素、それから循環型都市への転換を図るため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス、いわゆるZEH、あるいは戸建ての住宅用の再生可能エネルギーの発電等の設備、あるいは次世代自動車を購入した人を対象に補助金を交付

しますという形でうたわれております。この800万円という数字が、この計画、計画自体を拝見しますと、かなり壮大なといえますか、大がかりな計画のように感じますけれども、ちょっと800万円が見合わないような感じがいたしましたので、この関係についてご説明をしてください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） この補助金につきましては、令和3年度、今年度の9月補正でご承認いただいているものがございます。その際は全体で650万円というところで補助金を申請させていただいているところなんですけれども、まだ最初の補助金ということではなかなか見えない部分もございまして、実績等ありませんので、今回若干増やしたところで800万円というところで申請をさせていただいているところがございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 2つあるんですけれども、1つは今と同じところなんですけど、この補助の内容って、環境省も結構宣伝している内容だったかと思うんですけれども、財源のほうを見ると全然国の支出金等が入っていないので、これは全額単費で持っているというふうに理解してよろしいのかというのが1つと、003の環境基本計画推進費のほうですけれども、環境審議会の活動予定を教えていただければ。2点お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 最初の分のご質問につきましては、財源につきましては全て単費となっております。

それから、環境審議会につきましては、例年1回というところで活動しているところがございますが、今回の地球温暖化対策の実行計画の区域施策編等を策定するに当たって、令和4年度は3回会議を開催するという予定となっております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで13時15分まで休憩いたします。

休憩 午後0時27分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時15分

○委員長（陶山良尚委員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

130ページ、4款衛生費、2項清掃費について質疑はありませんか。132ページまでですね。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） それでは、お尋ねをいたします。

002美化センター管理運営費のほうでございしますが、美化センター管理運営費につきましては、2億2,714万円余の予算が立てられております。ここで予算の説明書によりますと、設備

が更新時期を迎えているということで、金属圧縮機や破砕機等の改修工事を行って、長期的安定稼働を図ることということですが、特に現在の一般ごみあるいは産業廃棄物を含めまして、ごみと申しますか、資源というのは既に再利用ということがたしかうたわれているはずで、一般に出されてくるごみの40から60%近くを再資源として利用されていると思いますけれども、そういう面での計画と今回のセンターの改修についてはどういう位置づけだったのでしょうか、お答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） リサイクル等との今回の工事費との位置づけということかと思いますが、環境美化センターのほうでは、当然金属とかリサイクルをするような施設となっておりますので、そこが止まってしまうと影響が出てくるというところで、今回一応施設としては30年経過しているというところで、設備のほうもかなり老朽化を迎えているというところで、まずは金属圧縮機の更新、それから併せて、粗大ごみをホッパーに入れて、そこから破砕機のほうにかけるベルトコンベヤーがあるんですけども、そちらのほうも老朽化しているというところで、いつ壊れてもおかしくないというところでの更新工事、新しくするというところの工事として、今回は予算として計上させていただいているというところであります。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。再利用ということは、もう私どもの地域社会では避けて通れない話だろうと思いますけれども、つまり今回破砕機にかけるとか、あるいはホッパーにかけて木材を再び使えるようにするというので、そういったものというのは、これを改修工事をやったら、数字の上で効果的に何か計画をお持ちになって、この部分だけ進みますというふうな数値目標がおありになるかどうかをお聞きしたいのですが。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） これを替えることによって何かかが数値が変わってくるという、リサイクル率が変わってくるということではなくて、あくまでも老朽化、美化センターを継続的に動かしていくというところでの今回の改修工事というふうにはなろうかと思うんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） ということは、市長がお進めになっているノーカーボンと申しますか、地球環境を維持していくという形では、まだその整合性が認められないと申しますか、そことはまだよく結びついてないというふうには理解すればよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） この施設を継続的に維持していく上で、当然ごみの再利用とかはゼロカーボンに向けて必ず必要ですので、それが止まらないようにというところで今回の改修工事等を行いますので、全く関係ないということには当たらないというふうに考えます。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 133ページ、ごみ処理費の中で福岡都市圏南部環境事業組合負担金のほうが、令和3年度に比べて減額になっているようです。4,300万円ぐらい減っているんですけども、この減額の内容なんですが、近年ごみ減量化に取り組んでいらっしやったんで、その関係でこれ、焼却場に持ち込む量が減るというところでこういうふうになったのか、もしくはほかの要因なのかをちょっと知りたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 今回の負担金の減少については、地元の環境整備交付金というのがあるんですけども、そちらが令和4年度からなくなること、それから運營業務委託料などの事業費が減額になることと併せて、売電収入、こちらのほうが過去の実績に基づいて算定すると増額になったというようなのが主な理由として減額になったというふうに伺っています。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） じゃあ、ちなみにごみ減量対策の実績というかな、分かる範囲で今どうなのか、ずっと続けていらっしやいますけれども、どうでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 申し訳ありません、今回令和3年分がこちらのほうで出してない部分がありまして、ただ、燃えるごみの減量については、若干ではありますけれども減ってきているということだと思っています。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。よろしいですかね。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 衛生費の135ページ、いいですよ、上、18節。

○委員長（陶山良尚委員） 135ページ上、いいですよ。

○委員（橋本 健委員） 古紙回収の件。

○委員長（陶山良尚委員） 大丈夫です。

○委員（橋本 健委員） これは古紙回収システムと資源再利用と、これどっちがどっちかちょっとはつきり分からないんですが、1kg8円、新聞紙、段ボール、ぼろぎれ、これは古紙回収のほうですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） そちらが古紙等資源の回収、古紙の回収のほうになります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） そしたら、上の古紙等資源再利用事業奨励金、これは回数に応じてバックをされると思うんですが、例えば自治会で取り組んでいるとか、いろいろな団体が取り組んでいると思うんですね、資源回収。何回、詳しく状況が分かりますかね。6回以上から奨励金をもらえるんですかね。詳しく教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） すみません、ちょっと訂正します。古紙等資源再利用事業奨励金、こちらのほうがキロ8円の方です、申し訳ありません。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） そしたら、古紙等回収システム推進補助金、これの内容を教えてください。6回以上から幾らかずっとバックがあると思うんですけどもね、段階的に。6回したら、7回やったら、8回やったらとか。その辺の状況。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） すみません、段階的な数字を今ちょっと持っておりません。6か月以上の場合が2万5,000円というのがありますので、また後ほど、数値のほうは出させていただきます。申し訳ありません。

○委員長（陶山良尚委員） よろしくお願いします。

よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、134ページの3目し尿処理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、同じく134ページ、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5款労働費に入ります。1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、136ページ、6款農林水産業費に入ります。1項農業費、1目農業委員会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目農業総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目農業振興費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 説明資料が9ページ、審査資料が16ページです。137ページの農業振興費の中で、鳥獣被害対策についてお伺いします。

これ、資料のほうでは特にイノシシに注目したんですけども、大体毎年250頭、200頭で推

移しているものが、令和2年に282頭、すごく増えております。苦情件数もずっと14件、31件、38件、令和2年度79件と急増しとるわけですが、私も身近なところで、これ畑、田んぼだけじゃなくて、文化財、史跡地の芝生あたりもかなりイノシシによって掘り返されて、すごく市民生活、身近なところまでイノシシが下りてきているなというふうに実感するわけですが、まずここら辺の状況についてちょっと説明いただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） ご指摘のとおり、令和2年度につきましては苦情も非常に多く、捕獲頭数も過去最高と私ども言うておりますが、それぐらい捕れております。その原因としては、なかなかつかめていないんですが、よその市町村あたりもそういった状況というのは聞いているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 令和4年度の予算としては、鳥獣被害防止対策事業費補助金としてメッシュ柵を導入する予算が100万円上がっておりますけれども、これは被害を防止する受けの対策だと思っております。逆に積極的にこれ捕獲するというほうが今回ちょっと弱いような気がするんですけども、ここについては被害状況もかなり増えていっているんだらうと、積極的に個体数を管理する方向に行くという考えはないんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） ちょっと新たな補助金は置いておきまして、捕獲とかということにつきましては、私どももいろいろ情報収集しておるところでございまして、つい先日も福岡農林管内の担当者が一堂に会しまして情報交換を行うとかということもやっております。今のところはそういった状況で、他市の状況とかも踏まえて検討しておるといような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じところに関連してということになるんですけども、予算審査資料16ページ、表の真ん中に農作物被害状況というのが出ていますけれども、単純な疑問なんですが、4年間被害金額も被害面積もほとんど変わっていないんですよね。これ、全く同じところが被害を受け続けているのではないかとうがったというか、そう感じてしまったんですけども、どのような状況なのかというのを。つまり、何も変わってないのであれば、対策が功を奏していないのではないかとこの疑念を持つので、ご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） まず、この数字は福岡県農業共済組合調べということで、水稻共催、稲の保険というんですか、それに加入しているところからいただいた資料でございます。これが客観的な資料ということで今回提示させていただいたわけですが、この推移は、私とし

ましてはたまたまというようなふうを考えております。農家の方もメッシュ柵ですとか最大限努力して設置とかしておるんですが、それでも入ってくるというようなところで、これは1か所に限定した話ではなくて、ところどころで出ているところです。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 関連してもう一つだけ質問なんですけれども、ということは、調べたのは農業共済組合ということなんですけれども、どこが被害を受けたのかというのは、市としても場所まで特定して把握しているという考えでよろしいんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） このシステムが、被害申請はうちを介してということになっておりますので、場所等は大体把握しております。

以上でございます。

○委員（笠利 毅委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、138ページ、4目都市近郊農業推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目農地費について質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねいたします。

農地費につきましては、令和4年度の予算が令和3年度に比べまして4,800万円という増額になっております。そこで、何が回復をしなければいけなかったものなのか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（中山和彦） 確かに令和3年度と令和4年度を比べますと4,000万円ほど増額となっております。それにつきましては、まずは工事の関係ですね。1つは、原口No.1池といたしまして、大佐野のため池なんですけれども、これが平成30年5月に堤体の底樋からつながっておりますマンホール部分がそのとき陥没しております。そのときに調査をいたしまして、緊急性といたしますか、補助金を含めてやっつけようということで、取りあえず取水施設としてポンプを設置して今まで対応してきております。県のほうの補助がつかしましたものですから、今回設計のほうを上げさせていただいております。

あと、工事につきましては、臨時工事の中ですけれども、7点ほどありまして、主なものとして、菅野手井堰の取水ポンプの更新工事、これはポンプの老朽化に伴う更新工事なんですけれども、あと、向佐野地区の大池なんですけれども、ゲートの設備の改修工事ということで、洪水ばけ、設置している手動式のゲートが老朽化に伴って改修工事になっています。

それとあとは、先ほど言いました原口No.1池のポンプ修繕工事なんですけれども、まだ改修工事まではあと数年かかりますので、ポンプの要は能力が大分落ちてきていますので、その改修、それを行うようにしています。

大体主にそういう内容になります。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、138ページの2項林業費、1目林業振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、140ページ、2目林業管理費について質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 林業管理費、001の市民の森の維持管理費ということについてお尋ねをいたします。

市民の森を改修するというので説明のほうはなされておりますけれども、今の施設を、これは779万円余ということですが、改修はなさって、市民の方に来ていただくというふうな形で考えていらっしゃるということよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） 市民の森につきましては、これまでも国、県の補助金を使いまして、かなりの部分、整備をさせていただいたところでございます。令和3年度で一定の大きな木の伐採については一通り完了したところもありまして、このような結果になっておりますが、新年度につきましては、市民の森の歴史まちづくり関連業務委託料ということで計上しておりますが、そちらで今後の市民の森をどんな森にするのかとか、そのために何をなすべきかというようなことで検討してまいりたいと考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 森田委員。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

それではもう一つ、004の林業用の施設の整備費ですけれども、これが従来からしますと1,000万円ほどの減額、令和3年度から比べるとなっておりますけれども、この点は、もう令和3年度の施設を造ったことで、しばらくは効用が満たされるということで、そういう減額になったのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（中山和彦） 令和3年度、本年度につきましては、ちょうど10カーブと11カーブの間なんですけど、雨水管の暗渠管が要は災害によって壊れましたんで、その分の改修工事としてちょっと金額が大きい金額がのっております。今回は一応のり面の工事が1つありますけれど

も、差額がその分ありますので、そういうことで全体的には減額という形になります。

今後ということなんですけれども、今後につきましては本年度ベースといいますか、ちょっとすみません、分からないんですけれども、令和3年度が特に大きかったということで考えていただいてもいいかなと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 003の森林環境譲与税事業費についてなんですけれども、これは最近始まったこの譲与税なんですけれども、本市としても大きな財源の一つとして考えていったときに、使い道として、最近、前は間伐だとかが中心だったんですが、ほかの市を見ますと、老朽化する公民館の建て替えなどの木質を使っていこうと、木をふんだんに使っていこうというときのそこにお金を利用するというようなところも増えてきているんですけれども、この使い道の考え方としてはどんなふうに進んでいるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） 森林環境譲与税の使途につきましては、福岡県のガイドラインにおきまして、まずは森林の整備というようなことで優先順位が上げられております。そういった関係もありまして、今年度の9月補正で、今後の森林整備の年度計画あたりを策定する予算を計上させていただきまして、今年度中にその計画策定ということになるんですが、委員ご指摘の木材の利用の促進といったようなことにつきましては、森林整備に関する経費とともに検討していきたいと。ですので、ちょっと次年度以降に具体的に検討していきたいというような考えを持っているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目緑地推進費について質疑はありますか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） お尋ねいたします。

これも単純にの話ですけれども、予算が今回5,116万円余ついておりますけれども、実をいうと昨年度0円だったんですよ。それで、これはどういった経緯でこういうふうになったのかということですが、教えていただけませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） 緑地公有化につきましては、昨年度につきましては、コロナの影響で大きく税収の減が見込まれるということで休止をさせていただきました。しかし、令和4年度当初予算では、市税全体でも前年度から大きく伸びるというようなこともございましたので、再開するというようなことにしておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 森田さんと同じです。

- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、7款商工費に入ります。1項商工費、1目商工総務費について質疑はありませんか。
小島委員。
- 委員（小島真由美委員） 001商工振興費、令和2年度にはかなり二十数件、30件近い件数があった信用保証協会の保証料の補助というのがあったんですけれども、これはもうないんですかね。
- 委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。
- 産業振興課長（伊藤健一） 保証料補助、18節のところに中小企業保証料補助金ということで300万円計上させていただいております。
- 委員（小島真由美委員） ありがとうございます。これ、中小企業保証料というのが信用保証協会の分ですね。分かりました。ありがとうございます。
- 委員長（陶山良尚委員） それじゃあ、1目については。
長谷川委員。
- 委員（長谷川公成委員） すみません、毎年、地域振興券、だざいふペイなんですけれども、大体補正予算で上がってきているんですけれども、ちょっと教えていただきたいのが、ここ2年ぐらい、県の補助もあって30%ぐらいの補助が出ていたと思うんですけれども、来年度もそういった県の補助と連携しながら地域振興券を発行するというふうな認識で、まだちょっと分からないと思うんですけれども、よろしいんですかね。
- 委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員、2目ですよ、それは。いいですよ、もう。今1目ですが、商工総務費について。
じゃあ、取りあえず、1目はありませんかね。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） そしたら、2目で商工振興費、先ほどの質問に対して回答は。お願いします。
産業振興課長。
- 産業振興課長（伊藤健一） 先ほどのだざいふペイを含めたプレミアム付商品券につきましては、今後の補正の中で考えていきたいと考えております。
以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 2目、ほかにはございませんか。
木村委員。
- 委員（木村彰人委員） 143ページ、細目001の商工振興費の中で、令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業委託料670万円なんですけれども、審査資料のほうは17ページです。資料としては、「梅」プロジェクトに含まれる関連事業の内容及び実施年次計画をお願いしますと

いう形でお願いしましたが、今のところ計画がないというところで、当該プロジェクトに関わる年次計画等につきましては、令和4年度中に検討していくということですが、この委託費の中で計画を検討する業務委託を出すのかと思いきや、この委託費の内容は個別事業の実施事業の委託なので、これ計画という委託が入ってないんですけれども、我々としては「梅」プロジェクトの全体が知りたいと思っているんですよね。包括する計画があつて、個別の事業の計画がその中に含まれていて実施していかれると、非常に分かりやすいんですけれども、まずは一般質問でもちょっとお答えありましたが、包括的な計画はまだないと。それで、つくるといことですが、予算的な措置がこれないんですけれども、令和4年度にどのように包括的な計画をつくれるのかをお答えください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） 「梅」プロジェクトにつきましては、ご存じのとおり史跡地の規制緩和を契機としまして、令和3年度からスタートしたものでございます。ちょっと手探りで進めてきたわけですが、委員ご指摘の年次計画等につきましては、予算の明記はないものの、令和4年度の中で検討していきたいと考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ぜひ、まず計画という段階で全体像をつくっていただいてご説明したほうが、我々もしっかりきますし、市民に対しても非常に情報発信するというのはいいと思いますので、これ要望ですけれども、よろしくをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 創業者支援補助金と、新規事業で女性を中心とした創業塾の補助金というのが今回計上されているんですが、これがセットで事業を行われていくのか、別々の事業として捉えていくのか、ちょっとその辺が、創業者の支援補助金も使えて、女性だったらさらにこの創業塾の補助金も使えるという考え方なのか、その辺がちょっと立分が分からないので、説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） まず、基本的には別物ということしております。創業塾補助金、新年度につきましては、女性を中心としたということしておりますが、創業塾そのものは以前から、令和2年度、令和3年度はコロナの関係で中止ということになりましたけれども、以前からあつておりましたもので、そこにさらに女性の活力とか女性の力で地域活性化をとかというような思いもありまして、女性を中心ということとさせていただきます。ですので、創業補助金とはまた別ということと捉えていただければと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 当初予算の説明資料の9ページの上から2番目の企業誘致・起業創

業支援の推進というところで、商工振興費のうち300万円を事業内容とされています、庁内における企業誘致プロジェクトチームによる誘致活動をさらに推進するというふうに書いてあるんですけれども、これのどういう内容が検討されたのかということをお教えいただけますか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（伊藤健一） 企業誘致につきましては、令和3年5月でしたか、庁内にプロジェクトチームをつくっております。その中でいろいろ検討してきたところですが、まずは受皿となる施設の検討、それからどういった業種をターゲットにするかといったような2点で、ずっと今まで協議を重ねてきたところであります。

よろしいですかね、以上です。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目消費者行政費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目観光費について質疑はありませんか。146、147ページまでですね。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 観光費いいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光費です。

○委員（橋本 健委員） 145ページ、細目003観光施設整備費の中の下から2番目なんですが、クルーズ船観光客対策業務委託料、これはまだ国としても観光客の入国は認めてないと思うんですが、455万3,000円計上されています。この理由をお教えください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） ただいま委員のほうがおっしゃるとおり、今現在、政府のほうは外国からの観光客というのは認めておりません。ただ、コロナの状況がこれから新年度を迎えるに当たって、いつ状況が変わるか分かりませんので、そのときに備えた予算ということで考えていただければと思います。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 分かりました。それで、この委託料の中身ですけれども、内容について教えていただけませんか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 大きくは警備関係ですね。クルーズ船でかなり多くのまとまった方が一気に天満宮の駐車場のほうに貸切りバス等で来られますので、団体誘導、交差点とか、特

に西鉄太宰府駅前の一番大きな県道の主要交差点等の警備体制とか、そのようなものがもう主になります。

以上となります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 同じく003の観光施設整備費についてなんですけれども、臨時トイレ設置委託料として、今回は何か所ぐらいに臨時トイレを置かれるのかお聞きします。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） 臨時トイレですが、これは、道路の拡張とか道路工事の関係とかでちょっと変わったりしますが、基本的には一応5か所になります。5か所の内訳ですが、1は大宰府政庁跡ですね。2つ目に坂本八幡宮、3つ目に松川ダム、松川ダムの県道沿いですね。そして、九州情報大学の駐車場、そして天満宮の第2駐車場の5か所になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 145ページ、002の観光事業推進費の中の負担金、補助金、レンタサイクル事業補助金についてなんですけれども、利用、貸出しの場所とか、あと台数とか、何か変化することがあれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（池田哲也） レンタサイクルについてですが、ここやはり昨年と一昨年、このコロナ禍においては利用者が大幅に減っております。あと、こちらの事業主体は西日本鉄道様のほうにお願いをして運営をしているわけなんですけど、これからは自転車ブームといいますか、かなり福岡県を挙げてこのサイクルツーリズムとかということもなっておりますので、これからまたより一層伸びてくると思いますけど、ここ2年間は観光客の減少に伴って、かなり少ないような状況となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 回遊性の向上についての調査研究を進めるというようなお話もあっていますので、レンタサイクル、自転車でゆっくり回っていただくというようなことは視点に置いて進めていただきたいなと思いますので、ぜひお願いします。要望しておきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、146ページ、8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、148ページ、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目道路橋梁新設改良費について質疑はありませんか。
小島委員。

○委員(小島真由美委員) すみません。生活道路改良費、今回補正も上がっているんですかね。

○委員長(陶山良尚委員) そうですね、補正も上がっています。それと併せてどうぞ。

○委員(小島真由美委員) かねがねこの生活道路改良費については、本当に一番必要なところの市営土木になってくるところで、大前提としては自治会から要望書を上げていただくということが大前提で、令和2年度の決算審査の資料を見せてもらった中で、自治会からの要望件数が339件、実施件数が157件、未着手の件数が182件ということで、これだけじゃなくて、かなりほかにもたくさんいろいろあるんですが、自治会から舗装工事だとか側溝の改良だとかカーブミラーの設置だとか、道路に関する様々なことが要望を上げられていて、これは平等性のところからきちんと振り分けながら、今工事を進められているんですが、もっと予算が多くていいんじゃないかといつも思っていたんですけども、また今回補正で上がってきたんですが、ここは年々やはり老朽化もありますし、一番自治会長さんたちも2階にしょっちゅう来られて、これを持ってこられる大変な状況があります。

もうちょっと予算を増やしていいなってつくづく思っていたところなんですけど、この未着手件数の182件というところと、プラスアルファでまた増えていくとかという懸念がないのかどうか。今回のまた補正で980万円ほど上がっています。これで足りるのかということもあるんですが、その辺の状況を教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 建設課長。

○建設課長(中山和彦) ありがとうございます。委員さん言われましたように、令和2年度におきましては、やはりその数字どおりで、達成率としましては、件数割合でいいますと50%弱ということになります。

私どもも、要望されたものが全てできれば一番いいかなとは思っておりますが、なかなかいろいろな状況もありましてということで、ただあまりにも何年も待たせ過ぎるのもいけないので、そういうところも考慮しながら、あとは自治会間のバランスも取りながらやっているところではあります。なるべくやはり緊急性があるものは当然しなければならないし、緊急性は特に予算上厳しかったら、もう補正を上げさせてもらおうとか、そういう形で対応させていただくかなと思っているところです。

今回補正を上げました分ですけれども、その点についてちょっとご説明をさせていただきます。

この補正につきましては、今そのJ A筑紫太宰府中央支店の改築がなされています。その

隣接道路なんですけれども、鶴田・岩谷線といいます、過去から途中で道路がちょっと折れていたりとか狭いということで、地元からの要望も出ているところです。

今回、JAさんのほうから一部道路用地として寄附をしようということでお話をいただきましたものですから、それが今年の1月に入ってからなんですけれども、そういうことでうちのほうも協議を進めてきたところです。JAさんの計画では本年中に建物を完成させるということがありましたものですから、それから遡ってしまいますと、道路改修を含めますとどうしても6月補正とかに間に合わないということで私どもも判断いたしまして、今回当初予算の中でのことは思っただけなんですけれども、それもちょっとタイミングが合わずに、補正予算という形になっております。

今現在、4mほどの道路ではあるんですけれども、一部用地を寄附をいただきまして6m道路にできるようところで、今JAさんとは話しているところです。

きちっとした形の手続きは取っておりませんが、JAさんの完成の時期を踏まえまして、今回補正予算として上げさせていただいたのが、この補正予算の内容になります。

説明は以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、もう一つ、委託料の工事設計監理等委託料で、これ空洞調査が毎年ずっと入っていたんですけれども、令和4年度についてまた空洞の調査とかというのが行わなければならないぐらい、陥没がまだ続いているのか、ちょっと状況を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（中山和彦） 空洞調査につきましては、補正予算で当初予定した分を全体的に調査をさせていただいた経緯がありまして、ただやはり、ちょっと最近もありまして、年に補正予算をいただいてからも2か所ほどあっております。ただ、そういうところもありまして、来年度以降も、今までの流れの中でやっていこうとは思っておりますが、その路線については、今ちょっと内部で検討させていただいて、一応例年、今まで予算をいただいていた分だけ予算をいただいて、継続的にやっていこうとは思っています。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目地域交通対策費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、対策費の001交通安全推進費、交通系ICカードなんですけれども、これ、自主返納のことでよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（白石 忠） そのとおりです。昨年度は高齢者運転免許証の自主返納支援事業費

補助金として組んでおりましたが、今回につきましては交通系 I C カード、いわゆる n i m o c a カードを配布するために、報償費として予算を組み直しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。じゃあ、令和 3 年度の実績状況を簡単にお示しただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（白石 忠） 令和 3 年度につきましては、令和 2 年度と比較をさせていただきますと、令和 2 年度中は 6 月から開始しておりますして 263 人ほど申請がございました。令和 3 年度は、令和 4 年 2 月末現在になります、240 人の方の申請がっております。3 月中も今随時申請がっておりますので、この人数から若干増えるところで見込んでおります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） ありがとうございます。最後に要望でございます。免許返納された後にどういう交通体系を利用されているかのアンケート調査とか、そういったのは所管としては取られていますか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（白石 忠） 一応どういったサービスを受けれたらいいかというふうなアンケートは取っておりますが、実態として申請後の追いかけをしておりませんので、例えばどのような形で交通利用をされているかということまではちょっと追いかけておりません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、最後です。高齢者の免許証返納につきましては、交通形態として公共サービスが一定保てない状況の場合は、自転車に移行される傾向性が強いので、そのあたりまた今後の対策ということで検討いただければと思います。これは要望です。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら次、橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 全く同じ質問だったんですが、返納者、これからコロナ禍が収束に向かえば、また運転者が増えると思うんですね、高齢者の運転が。そうするとアクセルとブレーキを間違えた、そういった事故が起きないように、市政だよりなんかで定期的に返納呼びかけですか、これをしていただければなというふうに、これはもう要望でございますが、返納の手続方法を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（白石 忠） まず、返納に当たっての該当要件が幾つかございます。1 つは、自主返納日において 70 歳以上の方、2 つ目が、令和 2 年 4 月 1 日以降に運転免許証を自主返納した人、3 つ目が、免許証の有効期間内に全ての運転免許証を自主返納された方、4 つ目が、自

主返納日に太宰府市に住民票を置いていた方というふうな4つの条件がございます。

最終的には、呼びかけについてはホームページ、それと広報等でしておりますが、今後につきましては地域の自主防犯の部会であったり、地元の自治会であったりの中で周知をしていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。いいですか。次、手を挙げてあったので。

○委員（木村彰人委員） 小さいことですが、令和3年度が200万円の予算を組んであったんですが、今回145万円というところで減額されていると。これ、自主返納の件数あたりを考えたところで、十分な予算を組まれてあるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（白石 忠） 一応今回は、去年は5,000円の中で、予定としては300人ほど見られるところで組んでおりましたけれども、令和2年度中、こちらの実績を一応ベースとして組まさせていただきます。もちろん申請の数が増えれば、補正予算等で対応させていただきたいという考えでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、続きまして152ページ、3項河川費、1目河川管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続きまして、4項都市計画費、1目都市計画総務費について質疑はありませんか。これが154ページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じく2目公園事業費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目下水道事業費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 4目土地開発費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、5項住宅費、1目住宅管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9款消防費、1項消防費、1目常備消防費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目非常備消防費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目消防施設費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) では、160ページ、4目災害対策費について質疑はありませんか。
森田委員。

○委員(森田正嗣委員) お尋ねいたします。

002市内一斉避難訓練経費として100万円の経費が予算が立てられております。予算の説明書によりますと、風水害の被災ということを前提に、避難行動について一斉の避難訓練をすることというものがうたわれておりますけれども、具体的にはどういう計画でしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 防災安全課長。

○防災安全課長(白石 忠) まず、こちらのほうで考えているのが、自治会、自主防災組織、それと消防署、警察署、自衛隊、こちらの関係団体にも協力を依頼したところで、今回ハザードマップの更新をしておりますので、そのハザードマップを活用したところで、まずは自宅からそれぞれ市民の方が各避難所、避難経路を確認していただくというところをメインに進めたいと思っております。

詳細なスケジュールにつきましては、まだ関係団体との調整が進んでおりませんので、現段階では決まってないというところになります。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 防災会議についてお尋ねいたします。

早い段階で防災会議に女性の視点からということ随分と検討いただきまして、3割の女性の方を配置をしていただくような形で、太宰府市は早い段階からお願いができました。ただ、この中に市の婦人会の会長さんであるとか、今婦人会もないんですが、今の人員の構成の中で女性の3割というところは、まだ今のところできていない感じなんでしょうか。何人中何人が女性でいらっしゃるんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 防災安全課長。

○防災安全課長(白石 忠) 今現在、31人中5人の方が女性の委員さんとなっております。これはまた更新が迫っておりますので、また更新でそれぞれ各団体からの委員選出、女性の方を呼びかけをしたいと思いますが、そちらのほうで女性の方が出てこなければ、またちょっと人数の増減が出てくるかもしれません。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、10款教育費に入ります。1項教育総務費、1目教育委員会費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目事務局費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 細目002の若年者専修学校等技能習得費ということで、これは4月の終わりぐらいが締切りだったと思うんですが、本市のホームページを見てもなかなか……。ここでよかったんですよ。いいんですよ。ホームページを見てもなかなか探し出せなかったんですけども、それで春日市のホームページから探し出したんですけども、県が指定してきている専門学校とか専修学校とかの対象であれば、要するに生活保護、また低所得者、市民税が減免とかされている方たちにとっては、10万円とか、月々3万円から5万円とかというようなことでのこの貸付金という形なんですけれども、これについてはどういうふうな周知をされていて、ホームページは載せてないんですけども、この辺の周知の仕方を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 今のお尋ねなんですけど、ホームページにも掲載はしておるところでございます。広報なんですけど、年1回、今度の3月1日号で今載せる予定にしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ちょっと探しづらくて、申し訳ない、私が探し切れなかったのかも分からないんですけども、こういう期限が迫った段階、こういう貸付金とか補助金とかは、できるだけ分かりやすく、一番最初開いたところに載せていただけたらと思うんですね。

ここの項目じゃないのかも分からないんですけども、すみません、委員長、1つちょっとお聞きしたいのが、関連して、今小学校とか中学校、また学童保育所で、コロナ感染で休まざるを得なくなった人たちへの、申請をして、就労の1日当たり幾らという金額の補助が国のメニューであるんですけど、そういうものとかも学校サイドとかが一番関わりがあると思うんですけど、そういったことの周知だとかというの、ホームページにもあまり載ってないと思うんですけども、こういうのと併せてタイムリーな補助金メニューとか、こういう貸付制度の季節的なものというのは出さないといけないと思うんですけど、今言いました、ちょっと補助金の名前を忘れたんですけども、こういったものについては学校サイドのほうはどんな周知をされてあるんですかね。

- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） すみません、私もその正式名称をはっきり今申し上げられないんですが、先日たしかホームページのほうで周知するような形で手続を取っていたと思います。後ほど確認させていただきまして、ご回答させていただきたいと思います。
- 委員長（陶山良尚委員） 小島委員。
- 委員（小島真由美委員） ありがとうございます。結構これは、働いている職場の方が申請を今までしていたのが、個人で申請ができるようなシステムにも変わりましたので、ぜひ活用はしていただきたいと思っています。なので、こういう、特に先ほど申しました002のこの専修学校の技能習得資金の貸付金は、4月のたしか22日ぐらいが締切りだと思うんですけども、その辺の周知というのはホームページだけという形なんですね、今のところは。
- 委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。
- 社会教育課長（添田邦彦） 周知につきましては、年1回になります、広報のほうにも載せております。3月1日号で掲載しておるところでございます。申込期間につきましては、4月4日から5月13日までが期間となっております。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
- 長谷川委員。
- 委員（長谷川公成委員） 165ページの12節の委託料なんですけれども、ネットワークシステム保守委託料というのが前年度に比べてかなり金額が上がっているんですけれども、これ、今後ずっとこの金額なのか、来年度だけこの金額なのか教えてください。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） 令和4年度、この委託料が増額している理由ですけれども、水城小学校の改築の関係で、1,200万円弱ぐらいその改修にかかるということで、ちょっと増額になっているところでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。
- 委員（橋本 健委員） 細目003学校教育運営費、1節の学校給食改善研究委員、これは何名いらっしゃるんでしょう。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） 規則上、10名以内ということで定められております。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。
- 委員（橋本 健委員） そしたら、10名以内。この中から中学校完全給食の実施に向けてのメンバー構成、ここに入れていただくんでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。
- 学校教育課長（鳥飼 太） 今、改善研究委員会を立ち上げまして、その中で議論していただく

という想定でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 中学校完全給食については質問もさせていただきましたけれども、スピード感を持って取り組むというお約束をいただいております。それで、大体いつぐらいから、これは3月議会が終わってすぐ取り組んでいただけるのか、すぐ動いていただけるのか。それから、非常にメンバー構成も気になるところでございますけれども、その辺の青写真というか、そういうものは出来上がっているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） いつ開始するかという具体的な時期というのは、まだ明確には、できるだけ早い時期に立ち上げて実施したいと考えております。

メンバーといたしましては、規則上、識者、それから調理員等、それから栄養士、教員、保護者というようなメンバーで規則上定められているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） そこに保護者は入らない、一般の市民とか、そういうのは。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 保護者もこの中には入っております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく関連しまして、学校給食改善研究委員会に関して伺いますけれども、一般質問の中でも議員各位のほうから質問がありましたところで、これどういう会議体なのかということで、お答えとしては、方針、方式、実施時期を結論するということだったと思います。しかしながら、これ、令和4年度1年間をずっとかけて、実際に検討するのはこの委員会、所管としては教育委員会教育部と思いますので、そこだけの結論だけでは、最終的な方針、方式、実施時期じゃないと思いますので、これ、この1年間かけてどこまでやるのかというのを伺いたいですよね。

まず、原案はこの委員会で作されるでしょうけれども、我々議会としても知りたい。それで、関係の例えば学校関係者、PTA、そこら辺に対しても情報発信して情報提供したところで、結論として方針、方式、実施時期が確定するということまで令和4年度中にできるというふうに考えてよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） まだその会議体自体を立ち上げてない状況でして、委員の皆様にお諮りさせていただいて、その議論の中で決まっていくものであるというふうに認識しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これは私の意見かもしれませんが、会議体ができてから分からな

いじゃなくて、会議体をつくる前に、この会議体で何を結論づけるのかというのをしっかり持ったところで会議を持たれるのが普通だと思うんですけども、いかがでしょうか。ちょっと意見っぽくなりましたが。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員、そこまで、自分の思いが入ったかもしれないけれども、その辺は回答あれば。
学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 委員さんのご意見を承りまして、ただ現在のところ、まだ委員さんがどなたになられるとかということもまだ決定していない状況ですので、もちろんどのように進めたいというのは、できるだけ早く、皆さんにお待たせしないようにとか、そういった思いはある中で、委員さんにお諮りさせていただいて、その中で決まっていくというようなことで認識しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これは要望です。会議体を組まれるときに、その会議体の課せられたミッションというのをしっかり提示したところで、どこまでやるというところをしっかりと明確にしたところで会議を進めてください。要望です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、166ページ、3目人権教育費について質疑はありませんか。
神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 167ページ、001南児童館指導事業関係費の貸付金のところなんですけれども、各種学校等入学支度金と奨学金って2つ、毎年上がっているんですけども、利用生徒数を教えていただいているんですか。予算の基になる人数はどのように積算されていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 利用の人数なんですけど、年間1人ということで大体あるんじゃないかなということで見込んでおります。理由としましては、ここ何年かは申込みがあってないというところもございますので、あと予算の範囲内ということで考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） この貸付金は、以前と変わらず地域限定の貸付金ということでよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 規定に基づいて貸付けするような形になっております。

以上でございます。

○副委員長（神武 綾委員） 分かりました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目特別支援教育費について質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、教育支援員さんの報酬の件ですけれども、来年度から勤務を週5日から週4日に減らすということで、現場は基本的に去年と同じ人数だと減ると思うんですけども、去年の人数と来年度の人数、分かっていたら教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 当初予算ベースですと、本年度が57名の想定でございました。来年度、令和4年度につきましては、予算上72名という予定で予算を組ませていただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにありませんか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 003の通級指導教室の運営費なんですけれども、市内11校中10校はもう通級指導教室が設置されております。残り1校がまだ設置されていないんですが、今後の予定とかあれば、ちょっとお聞かせいただきたいんですけども、実際、小学校高学年になって、中学校にないからといって他校に行かないといけないというような例、気持ちや保護者負担の面でかなりつらい思いもしているということを聞きますので、できれば早急に全校設置をお願いしたいんですけども、いかがでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今委員おっしゃるように、残り1校ということで、東中学校の設置ができてないというところでございます。設置の方針といたしましては、全校可能な限り設置させていただきたいとは考えておりますけれども、その通級指導教室に通われる生徒さん、児童さんの人数であるとか実態であるとか、そういったものを総合的に考慮して設置をさせていただいておりますので、今後その中で設置をすべきかどうかというのは判断をさせていただきたいと考えておるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） なかなか不登校で行けなくても、通級には行けるという児童もいるんですね。ですから、そういうふうな児童のことも考えていただいて、なるべく早急に設置を考えていただきたいと思います。これは要望ですので、よろしくをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、168ページ、5目幼稚園費について質疑はありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで14時35分まで休憩いたします。

休憩 午後2時24分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時35分

○委員長（陶山良尚委員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

環境課長。

○環境課長（高野浩二） 先ほど橋本委員さんのほうからご質問がありました件についてご回答いたします。

古紙等回収システム推進補助金につきましては、1か月に1回以上、かつ年間6か月以上実施した自治会に対してお支払いする補助金ですけれども、6か月の場合が2万5,000円、7か月が2万8,000円、8か月が3万1,000円、9か月が3万4,000円、10か月が3万7,000円、11か月が4万円、12か月が4万5,000円、各月ごとにお振込をさせていただいている状況です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（橋本 健委員） はい、ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、168ページ、2項小学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 171ページの需用費の消耗図書に関することになろうかと思うんですけども、中学校と併せて予算審査資料のほうで、20ページに資料要求させていただきました。学校図書館に関することなんですけど、令和4年度から文部科学省が第6次の学校図書館図書整備等5か年計画というのを、第6次なんで、ずっと続いているんですけども、そのキャンペーンをしまして、ちょっと気になったので資料請求させていただきました。

要は、学校図書館にしっかり冊数をそろえてくださいということと、併せて古い図書は更新してください。新聞を複数配置してほしいということと、学校司書さんをしっかり置いてください。本と新聞と司書、3つなんですけれども、資料としては図書費ということで要求させていただきました。

それが、文科省がこれだけのものを自治体向けに確保しましたと言っている基準財政需要額に関わる数字とちょっと比較してみたんですけども、文科省が新年度予算確保したと言っているものに対して、学校図書費というのがほぼ40%の額を占めているんですね。本市の場合は、概算ということでここに数字が出ていますけれども、学校図書費は図書館に関するものうち、5年間通じて見ても20%から25%ぐらい。司書は全国の基準より上回っているんですけども。

文部科学省は、要するに学校図書館の整備状況が遅れているということを言っているわけです。その際に、今回の資料の中に総務省のほうから、四角で囲ってのただし書が来ていますけれども、その上の米印を見ると、基準財政需要額を基に算定される普通交付税は一般財源であり、その用途を限定されるものではありません。つまり、ここに示された金額がそのまま学校図書館に使われるわけではないということを言っていると思うんですが、文科省が資料を作ると、この先に、ですからしっかり予算化をしてもらわないと、学校図書館は充実しませんよということを、文部省はずっと10年間、少なくとも10年間書き続けているんですね。

その上で、総務省のこの四角の中を見ると、各地域の事情を査証して合理的な数字として出しているということなので、学校教育が義務教育、高校も若干入っているとはいえ、義務教育であることを勘案すると、ここで総務省が言っているのは、国民としては、国民レベルで考えると、このあたりが合理的に考えられるというふうに理解していいかと思います。

その上で、太宰府市の実態を本の冊数だけで見てもみるならば、必ずしも文科省が必要であるとみなしているところの基準には達していない。達していないにもかかわらず、図書費だけいけば合理的と総務省が言っている割合のほぼ半分強ぐらいの費用しかかけていない。若干疑問を持たざるを得ないので、私が文科省の役人だったとしたら、こんなことでは駄目だと言うと思うんですけども、このような予算の配分、ずっと続いてきているかとは思いますが、どのように市としては説明していけるのか、ちょっとお聞かせいただければなと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今のご質問ですけれども、資料の20ページの一番下の表にございますとおり、この達成しているのが太宰府東小学校の106%ということにはなりますけれども、基本的に学校図書の充実というのは、することにこしたことはないわけでございますけれども、学校予算、限られた予算の中で、その年度ごとの重点事項とかもございます。どこに重点を持っていくかというのがありますし、基本的に学校のほうから学校予算というのは要望を出していただいて、その中から必要なところに学校のほうで振り分けていただくということで予算を組ませていただいている部分がございますので、この達成にこしたことはないんですけども、その限られた予算の中で配本をさせていただいておりますので、先々達成できるように、今後も努力を続けてまいりたいと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） ちょっとすみません、地方財政のそもそもの制度の関係を少し補足させていただきたいと思います。

私、その文科省の資料を拝見したわけではございませんけれども、恐らく文科省のほうには普通交付税の額を確保したという、多分いわゆる枠予算として書かれているかと思います。もちろんその枠予算全てこれが基準財政需要額の積み上げかといいますと、実際、地方財政計画の中で総額が決まっておりますので、そこが圧縮されたりすることもありますので、まず額が

積み上げたものと枠予算の額がイコールかというところ、そうじゃないというところがまず1つございます。

加えまして、これはあまり、親元の関係でこんなことを言っちゃいかんのかもしれませんけれども、普通交付税は、ご案内かもしれませんけれども、こういった個別算定経費もあれば包括算定経費もある中で、一つの費目と実際のもが完全にパラレルになっているかというところ、必ずしもそうではないと。総務省が言っている合理的というのは、主観的な要素が入らない意味で、もう線を切っていく、配分するためにどこに幾らというのをはっきりするための合理的という意味であって、実際の行政需要とイコールという意味での合理的ではこれはないんだろうと思っております。もちろんなるべくその実態に近づけるようにはしているかとは思いません。

そういった意味で、必ずしもこの基準財政需要額と実際の額を比較するというのは、政策的な意味でいうと、どこまで妥当性があるのかということも正直感じているところでございます。

加えて、多分この資料では予算額と算定値の対象とする費目、共通ではありませんとなっているかと思えます。これは実際に、これは必要があれば学校教育のほうからまた補足してもらえればと思えますけれども、基準財政需要額で見ている額とここに掲載している額がイコールではございませんので、そういった意味で、どこまできれいに切り分けられるかということもございますので、そういった意味で純粋な比較というのは、これはできないものなんだろうというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 一応それらの数字上のずれが出ることも含み置いた上で、私のほうでも考えて一応尋ねているんですが、その上で言えば、東小学校だけが達成しているということを鳥飼課長さんが言われましたけれども、ちょうどその10年以上前、私の子どもが東小学校に通っておりましたが、これを言っているのかどうか分かりませんが、学校図書館にはPTA、保護者からの寄附というのがあって、本を充実していたという現実がありました。よその学校でも聞いたことはありますけれども、どれぐらい一般化しているかは知りません。

それぐらい身銭を切っても充実したいという思いというのは昔からあったということで、1校しか達成していないというのは、望ましいことではないと思いますし、文科省が言いたいのは、予算をつけるということもありますけれども、学習指導要領で新聞というのを積極的に活用しようといったようなことであるとか、そうしたことも踏まえての提言であろうかと思うので、努力していただきたいと思っています。

1つだけお聞きしますけれども、例えば子どもが好きな図鑑というのは、ここ数年、物すごく改訂が速くなって、内容的にもどんどん更新されているというんですね。私が知っている学校図書館、中身をよく見たのは3つぐらいの学校はあるんですけども、やっぱりちょっと古くなっているものというのが多いんですが、図書の更新計画というのは、司書さんもついてい

ることですし、ある程度具体的にこのようにして本を適宜更新していこうということは、今行われているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 学校図書館に限らず、図書館の整備計画、その中に学校図書館の分がありますけれども、その中で司書さんのご意見をいただきながら更新をさせていただいているというような状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（堀 浩二） 今のまさに文科省からも示されているところでございます、冊数を達成するのももちろん大切なんだけれども、更新していく必要があるということは示されておりますので、その指針に基づいて対応していますが、当然毎年買い換えるわけにはいかないので、そこは意識して全体を見渡すということでございます。

あわせて、太宰府市では学校図書基本指針を設けまして、先ほどの冊数だけじゃないけれどもというご指摘いただきましたけれども、図書館を有効利用するために、図書館を読書センター、情報センター、学習センター、それぞれの役割があるんだということを各学校に示しておりますので、図書司書を中心に学校図書館の有効活用ということで、授業等も含めて活用していくようにということで推進をしておりますので、付け加えをさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） これは文科省に対する私の類推ですけども、時期的にいっても総合教育会議等で、市の財政部局であるというか、市長部局と教育委員会の連携が密に取れば、こういうものは進むよという制度ができた時期にもちょうど重なっているので、市庁舎全体でよく考えて、よい方向に進んでいただければなと思っています。これは希望というか、要望です。

○委員長（陶山良尚委員） それと、173ページに、003小学校施設整備費、併せて004小学校施設整備事業文化財調査費も補正予算として入っておりますので、併せて質疑があれば受けたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） 003と004に関わると思います。補正で減額ということになっておりますけれども、全体としては令和3年度からの予算で工事を予定されるということだろうと思います。

それでお尋ねでございますが、水城小学校について言いますと、私どもが見ても、この中に文化的な埋蔵物があるだろうなという感じがいたします。そうしますと、計画の中では令和6年までのスパンで建て替えということを考えていらっしゃるということですけども、仮に調査をし始めてみたら文化財が出てきたということになった場合に、今のところどういう計画で事業執行をなされていかれるご予定なのか、お聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課副課長。

○文化財課副課長（中島恒次郎） お答えさせていただきます。

今現在、建物が建っているところを主に改築ということで考えているところでございますので、実際の建物が解体された後、まずあるかないかの確認をさせていただいて、埋蔵文化財があった場合には、集中的にそこに調査に入って記録保存を第一に進めていこうと考えているところではございます。

水城小学校自体のことを申し上げますと、実際あそこからは古代大宰府に関わる物であったりとか、今年度エレベーターに関するところで調査をさせていただきましたが、古代大宰府に関わる遺構が確認されております。ですから、水城小学校の中で埋蔵文化財が出てくる可能性は極めて高うございます。

ただし一方で、学校運営に強く関わってくることでございますので、もし重要なものが出てきたにしても、まずは第一義的には記録保存をしていくということで進めていきたいとともに、学校運営と関わってきますので、関係部署と協議をしながら進めていきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員（森田正嗣委員） ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 173ページ、003小学校施設整備費ですけれども、当初予算の説明資料の11ページを開いていただけると、校舎、体育館の防水、外壁改修及び体育館照明のLED化等を実施すると。そして、今回の予算資料の21ページを開けていただけると、体育館照明LED化事業、工事の内容としては東小学校、水城西小、国分小の体育館の照明ということで書いてあるんですけれども、私が何が言いたいかといいますと、当初予算説明資料の中には東小学校における防水、外壁改修工事で1億4,417万円を使うということですが、水城西小学校と国分小学校の体育館も同じようにその中に入っているのでしょうか。LED化。体育館の。

○委員長（陶山良尚委員） 予算審査資料ですね。21ページですね。

社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 小学校施設整備費の工事請負費の中に、今年度、水城小学校の分と東小学校の分が入っておるようになります。水城西小学校と水城小学校の分につきましては、令和3年度に前倒しということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 前倒しというのは、どことどの分が前倒しにされたんですか。前倒しってどこですか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 令和3年度に補助の採択を受けました水城西小学校の4号棟の2期工事と給食室の大規模改造工事、並びに水城小学校の管理棟ほかの工事が前倒しということになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） 私が質問しているのは、体育館照明のLED化等を実施すると、その体育館の工事としては、太宰府東小学校、水城西小学校、国分小学校と書いてあるのに、予算の説明資料によると、それも含めてでしょうけれども、1億4,417万円の予算を使うということですから、国分小学校と水城西小学校のLED化はどこでどういうふうな予算をつけてあるのですかということを知りたいんです。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） こちらも14節の工事請負費の中に入っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） このことについては、また詳しくお聞きしに行きます。

それと、東小学校の体育館と国分小の体育館は、今から40年前ほどにできたと思います。同じ頃造ったとしても、老朽化によるLEDについても一緒だと思いますので、いろいろな改修工事、体育館の防水、外壁も含めて、国分小学校の体育館のほうも見ていただきたいと思っております。計画があるかどうかを教えてください、国分小学校。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 今現在、内部で協議中ということで調整しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 先に橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 171ページの12節委託料、給食調理業務委託料、これが昨年に比べて8,800万円増額になっているわけですね。この理由を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 水城小学校の改築工事に伴いまして、外部からの調理ということで予定しておりますので、その分が増加しているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

それでは、木村委員。

○委員（木村彰人委員） すみません、関連してご質問します。

これ、令和3年度がこれが8,425万9,000円、約2倍になっているんですね。令和3年度7小学校で8,425万9,000円、今回1小学校の外部委託で同額ぐらいが上がってきているわけなんですね。もう業者は決まっているようなんですけれども、ここのこれだけ1小学校で8,000万

円以上するその内容、どうしてこうなったのか、そこら辺の経緯をご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 想定といたしまして、学校外の民間の調理業者、これは学校給食に対応する業者ですけれども、こちらのほうから持ってきていただいて子どもたちに食べていただくという計画で、その分、配送費であるとかそういったところがちょっと経費がかさむ要因だと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） それにしてもこれ、去年までは7小学校で8,000万円、今年は1つの小学校で8,000万円というのは非常に、ぱっと聞いただけですと落ちてこないんですけれども、これ配送にしましても、多分恐らく遠いんでしょう。かなり遠いところから持ってこられるというふうに聞いております。これ、食数としては800以上の児童がいますのでかなり大きいんですけれども、そこら辺で移送費にすごく巨額な金額がかかるような業者と契約せざるを得なくなった事情、そこら辺、例えば近隣に、移送費に係るものを抑えつつも、なるべく早く当然持ってこられたほうがいいと思いますので、そういう業者さんがいなかったのか、何でそういう遠い業者と契約せざるを得なくなったのか、そこら辺の経緯をお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） こちらの業者選定については、プロポーザルということで選定をさせていただきました。それで広く募ったところで業者さんを募集したわけですけれども、学校給食ということで、まず安全・安心というところも加味したところで業者選定をさせていただいたところがございます。その経費ももちろんありますけれども、そういったところも加味して業者選定をさせていただいたところがございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） もちろん学校給食ですので、品質についてはもちろん間違いない品質を確保しつつも、これ、距離が遠いというところで、非常に運搬のための危機管理上というんですか、もし何かあって配送できなかった場合の、それ危機管理上の心配が私ちょっと想像できたんですけれども、そこら辺のフォローアップといいますか、そこら辺の準備、備え、そこら辺についてはどういうふうにお考えでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） プロポーザルの中で業者さんに様々な提案、それからこちらからのご質問、聞き取り等をさせていただいた中で、もちろんそういった距離からくるリスクというのも想定しております、想定といたしますか、そういったことも考えられると。そこら辺、業者さんに聞き取る中で、今までの実績であるとかそういったところをお聞きして、対応していただけたということも回答いただいておりますので、問題ないというふうには考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 173ページの細目003小学校施設整備費に関しまして、審査資料としては21ページです。お願いした資料としては、今後の小・中学校の施設全体の改修計画、中学校も入っていますけれども、それをいただきたかったんですが、令和4年度と令和5年度までしかないんですけれども、ちなみに小学校でいうと7小学校、中学校は4中学校ありますが、今水城小学校が大規模改築になっていますけれども、ほかの小・中学校も築40年とか、もう50年になるような小・中学校がございますですが、これ、公共施設等総合管理計画の中では、一般的な公共施設よりも先に学校施設の個別計画を立てるといふふうにご回答があったと思います。これ、7小学校、4中学校の全体的な計画、これ、優先順位あたりもありますよね。そこら辺の全体的な計画をまず持つてあるのかと、それをちょっとお聞きしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） 審査資料の21ページにありますとおり、上記以外は改修計画は今のところ内部で調整中でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） もう要望の域を出ませんけれども、なるべく早く全学校施設の状況を把握したところで、まずは優先順位をつけたところで、事業費的に集中しない形でのなべた形の計画を持ったところで、粛々とやっていくという形が普通だと思うんですけれども、そこら辺、内部検討だけではなくて、もう一歩進んだところでぜひ全体計画をお示しください。意見です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、続きまして2目の教育振興費について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 扶助費、学用品費外ということで、就学援助に当たることになると思うんですけれども、援助の項目、眼鏡は対象になっていますでしょうか。なってなければ、今後対応になるのか、そこのところをお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 学用品費という費目がございます。その対象として、この点ちょっと確認させてください。後ほど、眼鏡が対象になるかどうかちょっと確認させていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次ですね、174ページ、3項中学校費、1目学校管理費につ

いて質疑はありませんか。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 12節委託料ですけれども、中学校運動部部活動外部指導者派遣事業委託料、2年前が約385万円、去年が314万円、今年度300万円になっていますけれども、部活動指導者の方の人数を教えてください、昨年の。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 令和3年度ということでもよろしかったでしょうか。指導者といたしましては、23名の方に登録いただいております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） それで、令和4年度も23名の予定で、減らして300万円になっているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 各中学校から部活動の指導者というところでふさわしい方を選んでいただいて、登録をいただいているというような状況で、令和4年度も人数的には大きくは変わらないと思っておりますけれども、令和5年度に地域部活動の本格的な実施を控えておまして、令和4年度についてはこの指導者の、令和3年度でいくと23名ですけれども、この中から2名程度、この部活動指導員さんのほうになっていただけたらということで、令和4年度計画をしているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 非常に予算が少なく、途中、外部指導者の方にお金を払えなくなったりとか、予算の少ない中、各学校に任せたりとか、非常に不十分な措置なんですよね。先ほど言われた、再来年どういう形で地域の外部指導者を持っていくか、国からのお金も下りてくると思うんだけど、人を育ててないと、指導員の方2名っておっしゃったけれども、それじゃあ太宰府の中学校の部活動は回らないと思うんですよね。やはり根本的に、そのところは人を増やせるように努力していただきたいと思います。要望です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 175ページの役務費の中のランチサービス手数料なんですけれども、令和3年度から比べて減額になっていると思います。その減額の理由と、あとこの令和3年度中に利用率を20%にということですとずっと活動されてきたと思うんですけれども、今の利用率、来年度喫食率を上げていくために計画していることがあれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 下がった要因としましては、今年度実施しておりました試食会、小・中学校における試食会について、今年度一定の成果があっているということもございませ

て、来年度はその計画がございません。そのことで予算額がちょっと減っているというような状況でございます。

それと、今回の試食会を通じて喫食率は上がっておりまして、20%という目標はございましたが、月によって達成したというところもございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 平均としては何%というようなことになりますか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） ちょっとまだ最終的に年度末を迎えておりませんので、現在の状況ではございますけれども、現在12%強というところで、年度を通しての状況ではございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） まだもうちょっと頑張ってもらいたいと思うんですけれども、来年度の喫食率を増加させるための計画はどんなふうになっていますか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今年度、一定試食会を通じて周知ができていると思います。特に6年生、現在の小学校6年生の方には積極的に食べていただいて、よさが分かっていたということ、来年度については増えるのではなかろうかというふうに見込んでおりまして、試食会はできませんけれども、また学校にお伺いしてPRする等、そういったことを実施していきたいと考えているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 中学校管理運営費の中の11節の役務費の水質検査料、これ21万5,000円、それと小学校も同じような25万円ぐらい上がっていますけれども、これ年何回されているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） たしか年2回の検査だったと思います。ちょっとここも確認させていただいてよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（船越隆之委員） いいです。

○委員長（陶山良尚委員） ほかによろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目の教育振興費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項社会教育費、1目社会教育総務費について質疑はありませんか。180、181ページまでですね。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) では、2目青少年教育費について質疑はありませんか。

長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) 004青少年教育団体支援費で18節の負担金のところですね。今、子ども会もちょうど新年度になるということで入れ替わりの時期で、この太宰府リーダーズクラブというのは子ども会から2人ぐらい派遣しないといけないということで、その案内の用紙にはやる気のある子をお願いしますって書いてあるんですね。しかしながら、男子も女子もそうなんですけれども、社会体育等をやっていたら、やる気というよりも、できないということで、最終的には、適切かどうか分からないですけれども、じゃんけんで決めているという話を聞いています。

少子化で社会体育を、例えばソフトボールなりサッカーなりバスケットボール、バレーボールをやっている団体スポーツにおいて、1人でも抜けたら試合が成立しないということで、非常に子ども会としても、これを要請されると困るという意見が出ているんですね。これについてちょっと見解をお伺いしたいんですが、いかがでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 社会教育課長。

○社会教育課長(添田邦彦) 子ども会関係の事業とかそういった分につきましては、やっぱり歴史が長いものですから、昔はひきこもりだったり、皆子どもの居場所を見つけようという活動からどんどん始まってきたということで認識しているんですが、今もずっと続いておりまして、生活のスタイルだったり年代とか、そういったものも変わってきておりますので、いろいろなお意見を聞きながら今後事業とかを進めていく必要があるのかなと思っております。

あわせて、団体のほうにも支援する上で、そういったところを相談を受けながらとかやっていきたいとは考えております。

また、皆さんが集まることによって、横の連携とか横の情報も伝わりますので、いろいろな工夫をされていらっしゃる団体もあると思いますので、そういったところを活用していきたいなどは考えております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 長谷川委員。

○委員(長谷川公成委員) だから、結局6年生最後になって、例えば試合のレギュラーになる子もいるわけですね。その1年間、思い出づくりで試合に挑むということなのに、毎月毎月こういった会議が入ってくると、会議やら運営委員会みたいなものですね。非常に子どもたちも、学校もあるし、社会体育も頑張っている、こういったまた子ども会もしなければいけない、またリーダーズクラブのリーダーまでしないといけないとなると、相当な負担があるんですよね。結局、さっき言ったじゃんけんで決めているものですから、やる気自体も果たしてどうなのかというところもあるわけですね。あと、保護者のほうもやっぱり負担が出てきたり、

こっちを優先して社会体育を休むと、社会体育のチームワークが取れないとか。

ですから、ちょっと考えていただかないと、子ども会に入ったら必ずこれが何か、これをやらないといけないみたいな、半ば強制なんですね、私に言わせれば。今後、この在り方を考えていっていただきたいですね。

それともう一点、夏に親善事業があっていると思います。これも長年ずっと歴史があると思います。今はフリスビードッジで、私も関わったことがありますけれども、これも数年前に、夏は暑いから、熱中症対策もあるのでやめてくれというふうな要望を出していました。したら、2年前ぐらいか3年ぐらい前は11月ぐらいに変更になった経緯があります。しかし、今年度はまた8月の下旬の恐らく暑いであろうという時期に変更になっているんですね。これ、課長として会議等に出られて、そういった熱中症対策でやっぱり秋にしようという意見は出ないんですか、そういった会議の中で。ちょっとお尋ねします。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（添田邦彦） まず、1点目なんですけど、どうしてもスポーツ団体に入っていたりすると、子ども会の事業に出にくかったり出られなかったりする分があると思いますが、役員さんが前年からそのまま引継ぎを受けていらっしゃって、そのままの事業をされていらっしゃるところって多いと思うんですね。でも、どうしてもやっぱりその地域に合わなかったり、その子どもやら生活スタイルに合わなかったりするところがありますので、そこは自由に変えていらっしゃるところもありますし、なかなかたばっかりで変えるというのは難しいところもありますから、そういったところをほかの単子の状況とかをコミュニケーションを取りながらやっていただければというところでは考えているところでございます。

あと、夏の大会につきましては、フリスビードッジですね、話も聞くんですが、どうしても秋というのはイベントが多いものですから、どうしても事業を企画する上では、子どもさんたちの夏休みとかそういったところになってくるんじゃないかなと思います。ただ、近年の異常気象で暑いところもありますので、そこは考えながらやっていただきたいなどは私も考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 長谷川委員、ちょっといいですかね。ちょっと予算審議から少し離れていって一般質問化しています。少しその辺注意してください。

○委員（長谷川公成委員） こういった意見が出たということ、ちょっと時代も変わってきていますから、今後検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 同ページの005の地域学校協働活動推進費、7節の細目に地域学校協働活動推進委員謝礼とあるんですが、これは地域のコミュニティコーディネーターみたいなやつなんですかね。これ、ちょっと私に分からなかったの、教えていただきたいと質問しております。

す。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 令和4年度にこの地域協働学校活動というのを新たに実施するよう  
にしております。その中で、この推進委員さんというのに報償費をお支払いする計画でござい  
ます。1日3時間の活動をしていただいて、月4日という想定で、年間10か月間こういった活  
動をしていただくということで、学校と地域をつないでいただくというようなことで想定して  
計上している予算でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） それは人員体制的なものは分かりますか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 一応、今24人予定をしているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 新たな取組だと思しますので、ちょっとこれ、私たちが情報を全然持っ  
ていなかったものですから、予算にいきなり出てきていますので、また詳細が決まりましたら  
教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今の質問に関連しまして、説明資料としては12ページです。地域学校協  
働活動の推進というところで、コミュニティ・スクール活動を進めますというところで、もう  
一つ、私、非常に注目すべきは、教師の働き方改革を推進しますというところが非常にすごい  
なと思ったところなんですけれども、一応私も昔、地域活動をやっている中で、コミュニテ  
ィ・スクール活動が増えれば増えるほど、教育現場の先生たちは多忙になるよという本音を聞  
きました。恐らく昔と今は違うんだと思いますけれども、コミュニティ活動が盛んになること  
によって、逆に教育現場がますます多忙になったら本末転倒と思いますので、これ、新しい感  
覚でどういうところを注意して強力に推し進めようと思っていच्छるのか、お聞きしま  
す。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（堀 浩二） 今回、新しい仕組みではあるんですけども、今コミュニティ・スク  
ールの取組で、各学校はもう地域の中でしっかりと、いろいろな活動で子どもたちを育ててい  
ただいていると思います。今ご指摘のとおり、地域と一緒にとなると、学校の中だけでの教育  
活動プラスアルファになるので、先生たちの働き方改革という面では、もしかすると忙しいと  
ころがあるかもしれないんですが、今回この地域協働学校活動推進委員という方、こちらは今  
コミュニティ・スクールの中で地域コーディネーターと呼ばれている方をそちらでお願いし  
ようと思っております。新しく教育委員会のほうからお願いするという形になりますので、それ  
こそそこが窓口になって地域の方とつないでくださいということで、学校の地域代表の先生とこ

の方が一緒になって地域とのパイプ役になってくださるということで、今計画を進めております。実際動くのは今からですので、研修会なんかを持ちながらこの仕組みを整えていこうと考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 今の関連ですけれども、もちろん私も初めて聞いたので、頭の中を整理していますけれども、子どもに関わる地域の人が増えるのはいいことなんですけれども、今は学校教育課が取り組む。社会教育課が取り組んでいる地域子どもの日というものもあったと思うんですよ。そこはまたちょっと違うような気もするんですけれども、何かそこら辺うまく融合させて、関わる人が増えたほうがもちろんいいですけれども、別々に動くとしても、さっき木村委員も言われましたけれども、先生方の負担も増えるというところでの整理をしたほうがいいんじゃないかなという気がちょっとしていて、あと、自治体によっては社会教育委員の方が地域を担当して、その子どもたちの遊ぶ環境だったりとか、そういう地域をつくっていくような活動を任せているところもあるみたいなので、何かそこら辺もう少し研究していただいて、あまりいろいろやらないほうが逆にいいのかなという気もちらっと、ごめんなさい、しています。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） 教育部理事。

○教育部理事（堀 浩二） ありがとうございます。もうまさに今おっしゃっていただいたことが文科省も言っていることで、学校教育と社会教育、ここをうまく両輪でいくべきだということは言われていますので、今整理すべきところもたくさんあると思いますので、これを1つきっかけに整理もしていけたらと思います。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続きますして、3目青少年対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目図書館費について質疑はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ちょっとここで聞くのが適切かどうか疑問もあるんですけれども、市民図書館指定管理料という形で現在図書館の司書さんたちは雇われていたと思うんですけれども、ちょっと何年前か忘れましたが、市で雇用していた図書館の司書さんが、今市役所のどこかで働いているかと思うんですけれども、先ほど人材育成のところ、資格があれば、それに応じた配置等をなるべく考えていきたいというようなことが言われていましたけれども、現在市として司書として雇用した方の専門的な技量というのが生かされるような形になっているのかなというのはちょっと懸念しているので、教えていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（花田敏浩） 元図書館のほうで司書としてお仕事されてあった方が、今はお一人は文化振興財団のほうで市の派遣職員として派遣されて、館長をされている方が1人いらっしゃいます。そのほかの3名ほどにつきましては、一般職として市役所の中で仕事をされているという状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） その状況はある程度知ってはいたんですけども、専門職職員さんもしくは資格を持っている方を生かしていくという点では、人材育成のところを出ていた話とも重なってくるのかとは思いますが、職員の働きがいといいますか、そういう点では持っている資格を十分に生かすということはとても大切なことだと思いますし、様々な専門職がこれから必要になっていく時代だと思うので、そこは重々配慮していろいろやっていただければなど。これは希望として述べておきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 今回、地方創生の臨時交付金を使って図書館パワーアップ事業ということも入れてありますけれども、この本体の図書館自体に、臨時交付金の中にはコロナ対策というところが主で、各市に今回交付金が下りてきたんですが、ここには入ってきてないと思うんですが、図書館自体に、今どこの市でもブックシャワーを取り付けてあるところが増えてきて、これ、コロナ対策の中で何で図書館自体がオープンに、ある程度感染者が収まったときに、図書館に出入りして安心・安全でというところで、ブックシャワーの検討がなされなかったのかなとずっと思っていたんですが、この件については今回のこの当初予算、またこの図書館パワーアップというところではなかったのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（花田敏浩） 今回の図書館パワーアップ事業、コロナの交付金を使いましての事業につきましては、図書の購入資料ということになります。そのほか、消耗品も購入する分としては考えております。

図書の消毒といった意味合いでは、今年度、令和3年度に紫外線によります殺菌庫、ボックスを購入しまして、希望される方がご自身でその設備を使っていただくというものを購入しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） じゃあ、令和3年にはもう導入されているということですね、ブックシャワーが。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目の公民館費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目、184ページですね、6目文化財整備費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、186ページ、7目文化財活用費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、188ページ、8目文化財調査費について質疑はありませんか。次の190ページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5項保健体育費、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、192ページ、2目施設管理運営費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 195ページ、14節工事請負費の中の営繕工事、施設改修工事費1,700万円についてご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（轟 貴之） それでは、工事請負費、営繕工事、施設改修工事についてご説明申し上げます。

まず、営繕工事につきましては、臨時的な工事とさせていただければよろしいかなと思っております。

そして、施設改修工事についてですが、こちらの内容としましては、史跡水辺公園の変圧器部分改修工事や防火シャッター改修工事、屋上防水工事、そのほか総合体育館の視覚障がい者用誘導ブロック設置工事、また体育センターの照明LED化工事、梅林アスレチックスポーツ公園放送設備取替え工事、大佐野スポーツ公園ろ過ポンプ取替え工事、松川体育館電源増設工事等を予定しております。

説明は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちょっとこれ、この中に入っているとお聞きしたんですが、市民

プール、これちょっと私思い出しました。数年前に機械設備が非常にトラブルがあったというところで、それでこれ自体がもう築29年か、古い施設なんで、これ建物だけじゃなくて、プールというのは機械、電気設備がかなりのところを占めるというふうにそのときご説明を受けたんですけども、ちなみにこれ、これも体育館は新しいんですよ。プールはかなり古いというところで、ここら辺の何かしらの手当てあたりが考えていられるのかなと思ってちょっと聞こうと思ったんですが、特に今回、令和4年度はないようですけれども、これ将来的に何か考えていらっしゃるんであれば、分かる範囲でお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（轟 貴之） そうですね、公共施設、スポーツ施設に限らず、そのほかの公共施設につきましても、令和4年度に庁内プロジェクトチームを立ち上げて公共施設再編等について検討を進め、効果的、効率的で持続可能な行政運営を図る、抜本的な行財政改革プランの策定に取り組むという予定になっておりますので、その中でスポーツ施設についても考えていく予定としております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 関連してなんですが、今点字ブロックの話が出たので思い出したのですが、当初予算説明資料の14ページにバリアフリー化の推進ということで点字ブロックのことが出ていたかと思いますが、これは1つは、スポーツ施設管理運営費のうちという金額と障がい者施設等推進費のうちという金額と両方出ていますけれども、これ2つ合わせて点字ブロックの工事をするのかというのが1つと、もう一つは、これ新規事業というふうに名を打っていますけれども、バリアフリー化の推進というものを今回の点字ブロックに限らず、市長の公約という中にも入っていたかと思うんですけれども、一連の市の在り方として、順次公共施設のバリアフリー化というものをやっていく、それを念頭に置いた新規事業として書かれているのか、ちょっとその辺のことを2点お聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（轟 貴之） 当初予算説明資料にありますバリアフリー化の推進の内訳の一つとして、スポーツ施設管理運営費103万9,000円ということで掲載のほうをさせていただいているところですが、こちらについては、あくまでも総合体育館の視覚障がい者用誘導ブロック設置工事のみという内容になっております。

このバリアフリー化の推進の考え方というのは、もちろん障がい者プラン等にも掲載があるような内容だとは思っております。ただ、新規というのは、体育館のほうでは新しく設置するというので、この新規ということでの表現になっておるところでございます。

説明は以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 確認ですけれども、ということは、もう単発的な事業であるという理解

でよろしいですね、これ自体についていえば。

○委員長（陶山良尚委員） スポーツ課長。

○スポーツ課長（轟 貴之） スポーツ施設管理運営費で上げている内容については、今回こちらの単独の分で上げておるとい形になります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 先ほどご回答ができなかった分のご回答をさせていただきます。

まず、小島委員さんからいただきましたご質問でございました新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金支援金の周知でございますが、現在ホームページのほうで周知をさせていただいているところでございます。

それから続きまして、神武副委員長からご質問いただいた就学援助の対象の分でございますが、眼鏡が対象になるのかというご質問をいただきました。こちら、眼鏡も対象になっております。

それから、先ほど船越委員さんからご質問いただきました水質検査料の件でございます。小・中学校ともプールを2回、それから飲料水を1回、計3回検査するという予算を計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それぞれよろしいですかね。

それでは、11款災害復旧費に入ります。1項文教施設災害復旧費、1目文化財施設災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項農林水産業施設災害復旧費、1目農業用施設災害復旧費、続けて2目林業施設災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項公共土木施設災害復旧費、1目道路橋梁災害復旧費、続きまして、次のページですね、2目河川災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項その他公共施設・公用施設災害復旧費、1目衛生施設災害復旧費、続けて2目緑地等災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、12款公債費に入ります。1項公債費、1目元金、そして続けて2目利子について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、次のページ、198ページ、予備費に入ります。1項予備費、1目予備費について質疑はありませんか。この予備費については、補正予算にも計上されておりますので、併せて質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 以上で歳出の審査を終わります。

ここで3時45分まで休憩いたします。

休憩 午後3時36分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後3時45分

○委員長(陶山良尚委員) 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、16ページ、歳入に入ります。

1款市税、1項市民税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2項固定資産税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項軽自動車税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4項市たばこ税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、18ページですね、5項都市計画税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 6項入湯税について質疑はありませんか。

森田委員。

○委員(森田正嗣委員) 入湯税が昨年は290万円、今年が440万円ということで、この増えている見込みというのはどういった根拠でしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 税務課長。

○税務課長(田代 浩) 入湯税につきましては、令和3年度の収入見込みですが400万円ほど見込んでおります。そこから、来年度につきましては観光客のほうも景気の回復とともに増えてくるということを見込みまして、約10%、40万円をさらに増加をしております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、7項歴史と文化の環境税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2款地方譲与税、1項地方揮発油譲与税、1目地方揮発油譲与税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 2項自動車重量譲与税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項森林環境譲与税について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3款利子割交付金、1項利子割交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4款配当割交付金、1項配当割交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、5款株式等譲渡所得割交付金、1項株式等譲渡所得割交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、22ページ、6款法人事業税交付金、1項法人事業税交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 7款地方消費税交付金、1項地方消費税交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 8款ゴルフ場利用税交付金、1項ゴルフ場利用税交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 9款環境性能割交付金、1項環境性能割交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 10款地方特例交付金、1項地方特例交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 10款、これは廃項になっています、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金について質疑はありませんか。

森田委員。

○委員（森田正嗣委員） ちょっと見慣れないものというか、あれですね。これ、どういった経緯のものでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） これにつきましては、固定資産税、都市計画税についてなんですけれども、コロナの特例がございまして、これは令和3年度限りなんですけれども、中小の事業者で売上げ等が減少した中小事業者に対しまして、固定資産税の家屋と償却資産、こちらのほうの税額を減額するという措置がございました。その分の国からの補填分ということになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、20ページの5款1項の株式等譲渡所得割交付金、これ結構な見込みが多いんですけれども、令和元年と比べても何で今回こんなに多く出たのか、ちょっと教えてもらいたいですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） こちらの増額分につきましては、総務省のほうが地方税、それから地方譲与税関係の来年度の見込みのほうを出してございまして、その増加を見込んでということになります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、戻りまして、11款地方交付税、1項地方交付税について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 12款交通安全対策特別交付金、1項交通安全対策特別交付金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、13款分担金及び負担金、1項負担金、1目総務費負担金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、次のページ、26ページ、2目民生費負担金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目教育費負担金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、14款使用料及び手数料、1項使用料、1目総務使用料について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 27ページからの使用料についてお伺いしたいんですけども、これは平成31年にほぼ全面改定されたような感じがしていたんですけども、消費税が10%に変わったときに。今回、市長の施政方針の中でも述べられました使用料、利用料、プロジェクトで見直しを行うと言われたかと思うんですけども、この使用料についても見直しの対象でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） 使用料につきましても、来年度プロジェクトチームで検討する内容になろうかと考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目民生使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次のページ、28ページ、3目衛生使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目農林水産業使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 5目商工使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 6目土木使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 7目消防使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 8目教育使用料について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、32ページの2項手数料、1目総務手数料について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） これも使用料と同じ質問なんですけれども、この手数料についてもプロジェクトチームで見直しをされるという考えでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） その予定でございます。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目衛生手数料について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3目農林水産業手数料について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、4目土木手数料について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、34ページ、15款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 2目衛生費国庫負担金について質疑はありませんか。

ちょっと戻りますね。すみません。1項の民生費国庫負担金については、補正予算のほうに児童福祉費負担金のほうが補正予算に入っておりますけれども、これについては質疑はありませんか。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目衛生費国庫負担金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 3目教育費国庫負担金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次のページですね、2目民生費国庫補助金について質疑はありませんか。ここについても、児童福祉費補助金については補正予算に上がっておりますので、併せて質疑があればお願いしたいと思います。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 3目衛生費国庫補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 4目農林水産業費国庫補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 5目土木費国庫補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 次のページですね、38ページ、6目教育費国庫補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 廃目消防費国庫補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) すみません、前に戻りますけれども、6目の教育費国庫補助金の中にも、小学校費補助金が補正予算に入っておりますけれども、これについても質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、15款3項委託金、1目総務費委託金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 2目民生費委託金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、16款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) すみません、その1目の民生費県負担金の中に、これも児童福祉費負担金が補正予算の中に上がっておりますけれども、これについても質疑はないでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目の衛生費県負担金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 3目の県事務移譲交付金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2項県補助金、1目総務費県補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 2目民生費県補助金、これについても児童福祉費補助金について補正予算の中に上がっておりますので、併せて質疑を受けたいと思いますけれども、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 3目衛生費県補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 4目農林水産業費県補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 5目商工費県補助金について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、44ページ、6目土木費県補助金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 7目教育費県補助金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項委託金、1目総務費委託金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、46ページですね、委託金の2目民生費委託金、そして3目衛生費委託金、そして4目の商工費委託金、そして5目土木費委託金、6目の消防費委託金、そして7目の教育費委託金まで一括して質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入及び2目利子及び配当金、次のページまでありますけれども、質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 2目の公共施設整備基金の運用収入は、これは今、国債だけで運用してあるんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） すみません、ちょっと調べまして、後ほど報告させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 47ページ、1目財産貸付収入ですけれども、これ、令和3年度に比べて634万1,000円も増えているんですが、財産貸付収入としては、行政財産の使用条例に基づいた比率によって、土地の評価額に掛けるという形で出されていると思うんですが、これは見直しが、近年太宰府市におきましても地価が上がってきているという情報発信がありますよね。地価が上がってきているというところで、これは当然貸付収入に反映してくると思うんですが、ここの見直しあたりはどうでしょうか。

それとあわせて、先ほど言いましたとおり令和3年に比べて634万1,000円も増えているので、これ何かしら見直しがあったものか、ご説明ください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（柴田義則） こちらの増額の一つのまず要因でございますが、市有土地等貸付料の中に普通財産の貸付けの部分がありまして、この部分が増額になっています。具体的にはいきいき情報センターの部分になります。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そのほかにも土地の関係の貸付けもあるんですけども、こちらの適正な見直し、またはそれこそプロジェクトチームでここら辺も考えていくのか、そこら辺のご説明をいただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） そのあたりも含めて来年度検討してまいりたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね。2項財産売却収入、1目不動産売却収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、18款寄附金、1項寄附金、1目一般寄附金及び2目総務費寄附金及び3目教育費寄附金について質疑はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） ふるさと太宰府応援寄附についてですけども、寄附をいただいた分の用途について、令和3年度の時点でも検討するというようなことが施政方針にも書かれていたんですけども、一応入った寄附金が全て一般財源ということで、今回もそれぞれの事業に配分されているんですけども、令和4年度はそういう形でされているんですけども、今後、寄附された方々の希望を聞いて、一般質問の回答では、11項目用途を希望を聞いて、そこに積み立てるといようなお話がありましたけれども、その11項目についてはもう既に動かされていると思うんですけども、ホームページなどには載っていますでしょうか。その11項目を教えてくださいんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） すみません、お待たせしました。11項目の用途でございますけれども、読み上げます。産業振興、観光振興、子育て・教育、それから健康・福祉、それから5番目ですけども文化芸術・スポーツ、それから6番目に歴史・文化財、7番目に古都・みらい基金、8番目にまちづくり・防災、9番目に環境・自然保護、10番目にBeautiful Harmonyファンド、それから最後11番目が指定しないというところの11項目になっております。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 令和4年度は、もう一般財源化にするということになっていますので、令和5年度からは、これに積み立てた分で事業配分していくというような方向性を持っているというようなことになるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） まず、用途は指定させていただく仕様にはなっておるんですけども、現状、積立てという形にはなっておりませんので、これは現状、現時点では令和5年度以降とかも、そういった各項目の積立てという形の制度になっているわけではございません。ただ、当然ながら、もちろん用途の範囲でしっかり我々としては使っていきたいとは考えているところではございますが、形式的な意味でいうと積み上げているということではございません。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 結局、寄附金はいただいたけれども、実際これに使いましたとかというようなことがはっきり分からないわけですね。それは今のお話だったら、その11項目で振り分けてというようなことになっていくので、次回聞いたときには、11項目、幾ら、幾ら、幾らというような数字が出てくるというような考え方でよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 恐らく決算までには、まだこの項目に幾ら使われたかということは整理していくことになろうとは思ってはおります。あくまで一般財源でありますので、どこの事業に何を幾ら充当したかというのが、これ論理必然的にひもづくものではございません。あくまで11用途で幾ら積まれていて、それがちゃんと我々の中の内部の整理といたしまして、しっかりとその事業に使われているかというのを管理していくということになるかと思えます。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） 僕も一般質問で同じ質問をさせていただいて、神武委員が言われたのとほぼ同じ形なんですけれども、それって意味があるのでしょうか。その項目を分けて、数字だけこういう名目上、発表するというところに、何か意味があるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） ちょっと一般質問的になって、どこまで答えていいのかあれなんですけれども、あくまで我々の市に対してどのような目的で使っていただきたいかという思いを受け止めて、我々のほうとしても寄附いただいておりますので、当然寄附者の思いになるべく応えて使っていきたいということでもありますし、そのために11項目分けて、どんなことに使えるのかということをお我々としては提示しているというところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） じゃあ、それはもうアンケートのような受け取り方ということでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 各ポータルサイトで、実際寄附するときどんな目的に使いますかというのを選択するところがございます、その中で寄附者の方がそこに使うということを選択していただいた上で、我々に寄附をいただくという立てつけになってございま

す。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今に関連してなんですけれども、内部的に振り分けるとか、一般財源に入るかと、その理屈はよく分かりますし、思いを受け止めてという言い方もされまして、それについてもよく分かるし、分かるんですが、ただし思いをインターネットを通じて伝える側からすると、それがどうなったかという、内部の振り分けではなくて、外部にどういうふうに出てくるかということのほうがむしろ大切だと思うので、今のご回答だと、その辺の説明がクリアでないと感じますので、それについて一言いただきたいということが一言と、もう一つは、積極的に市長はこの金額を増やしていこうとしていて、今年10億円の予定で、うち6億円は消えてしまうにしても、もしこれがもっと順調にいけば、どんどんその割合というのが市の財政の中で占める率が上がっていく。だけれども、これ必ずしも、じゃあ今順調だからといって、来年もという性質のものではないので、だとすると、さっきは外部的にとということも言いましたけれども、内部的にもあらかじめはっきりさせておかないと、率が上がってくれば上がってくるほど、自分たちが何をしたいかということの財源が不安定になっていくということになっていくと思うんですね。

その辺を避けるためにも、今回要求された資料で一般財源として受入れを行っていますということで、具体的に何を考えているということに一切の返答がなかったわけなんですけれども、これはちょっと考え直していったほうがいいんじゃないかというふうに私としては感じますので、その点についても一言いただければ。

○委員長（陶山良尚委員） ちょっと笠利委員、だんだん予算審議とふるさと納税の使い方とか、どうもそういう方向に行っているんですね。だから、その辺があれなんですけれども、そこまでは今回あれしますけれども。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 予算編成するに当たってどういう判断をしているかということなので、そこはちょっと聞いておきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、回答をお願いします。

総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） まず、予算編成でいいますと、やはり我々、各項目で様々な予算を組んでおりますので、まず結論といたしましては、ふるさと納税で各用途をいろいろご指定はいただいておりますけれども、実際に支払う額はもっとそれより多いところがございますので、実務的に現状まず問題が起きているかどうかというと、起きてないところではございます。そういった意味で、今現状はある程度、市外の方から寄附いただいているその思いに応え切れているだろうと。

ただ、今後どうすべきかということまで、今のままで100%続けていくのか、そういったこ

とも含めて、現状何か意思決定しているわけではございませんので、我々としても寄附を多くいただくためにはどういう制度にしていくべきかというのは、これは常に考えているところではございますので、現状何か決めていることはございませんけれども、より多く寄附したいと思うような運用ができるようには、常日頃から考えていきたいとは思ってはいるところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

それじゃあ、木村委員。

○委員（木村彰人委員） ふるさと納税の基本的なことを聞かせてください。今回10億円ですね。

それで、令和3年度は7億円、それで途中で増えたところで、最終的には10億円になったというところで、今回10億円になった根拠をちょっと聞きたいところだったんですが、前回も何回も聞いとるんですけども、何で絶好調なのかと。前の答えとしては、福岡県内の返礼品がラインナップできたんで、それが寄与しているんじゃないかなぐらいだったと思うんですが、今回10億円に、令和3年の実績を基に10億円なのかと思いますが、この10億円の根拠は何でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 形式的なことをまず申しますと、まちづくりビジョンの中で目標額として10億円にしているところがございます。そういった意味で、10億円を目指していくというところではございます。そういう意味ですと、総合戦略に沿っているところというのが実態でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 総合戦略でいいますと、あと令和4年、令和5年、令和6年と3年間あるんで、まだまだ伸びそうなんですけれどもね。

ちょっと予算審査資料をお願いしておりました。1ページです。何を要求したかといいますと、寄附者の属性、返礼品との関係といった何か評価の原因なのか分析した資料をできる限りお願いしますという形でいただきました。寄附者の属性ですね、これ居住地別の円グラフ、それと寄附受納額の上位10品目、これだけなんですけれども、ちょっとこれだけで何が原因かというのはなかなか難しい、私も分かりません。

しかしながら、まず品目でいいますとラーメンとめんたいこ、ほぼほぼこればかりなんですよね。多分業者さんが違うんで、10品目の中にラーメンとめんたいこがそれぞれ何個も入っておりますけれども、これしかない。寄附者の属性といいますと、関東と中部、近畿だけでほぼほぼ8割というところで、これだけなんですけれどもね。そこら辺でこれ、何とも言いようがないんですけれども、これさらに増やそうと思ったら、ここら辺このデータしかないんですよ。これで何か今の段階で秘策というもの。

ちょっと提案しますと、例えば物じゃなくてコトを考えていらっしゃるとか、ただ漫然と、漫然とじゃないですね、令和3年度に引き続き10億円というだけじゃ、何かちょっと取組が違

ったところで10億円を目指すというような計画があればお聞かせいただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 実際、決算にこれから向けて細かくいろいろ分析していきたいとは思っております。こちら資料で出させていただきましたのは令和2年度の実績でありまして、まだ令和3年度、かなり細かく分析できているところではございませんが、恐らく状況もかなり変わってきているところもございます。そういったところも丁寧に踏まえながら、どうしていくべきかというのは考えていきたいと思っております。

あと、すみません、先ほどちょっと答弁漏れしたかもしれませんけれども、やはりなぜ我々増えているかというところ、これも改めて最終的には分析していきたいとは思っておりますけれども、たしか1月の臨時議会でもお答えさせていただいたと思いますが、やっぱり太宰府市に着目していただいているというのは非常に実感しているところでございまして、ちゃんと我々のほうに寄附したいんだという方の思いに応えられるように、この辺も含めてしっかりと今後細かく分析していきたいなというふうに思っております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） すみません、先ほど小島委員のご質問で公共施設整備基金の運用でございまして、全て現在は定期預金のみで運用しているということでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） そこはもう一回振り返って、どこになりますか。

（「ページ数」と呼ぶ者あり）

○経営企画課長（佐藤政吾） ページ数が47ページの17款財産収入、1項財産運用収入の2利子及び配当金の中に公共施設整備基金運用収入148万円がございまして。こちらの148万円の運用でございすけれども、現在定期預金で運用しているということでございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

そうしましたら、19款繰入金、1項基金繰入金、ここにも公共施設の整備基金繰入金が補正予算で計上されておりますので、併せて質疑を受けたいと思います。質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、次のページ、50ページですね。2項の特別会計繰入金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、20款ですね、繰越金、1項繰越金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次のページ、52ページ、21款諸収入、1項延滞金・加算金及び過料、1目延滞金、2目過料、併せて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項市預金利子について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3項貸付金元利収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項雑入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 5項受託事業収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、22款市債、1項市債、これもまとめて質疑を受けたいと思います。まず、54ページだけです。1目総務債、2目衛生債、3目農林水産業債、4目商工債、5目土木債、ここまで質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、次のページ、56ページですね、6目消防債、7目教育債、ここにおいても小学校施設整備事業として補正予算の中に計上されておりますので、併せて質疑をお願いしたいと思います。8目臨時財政対策債ですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、8ページの第2表債務負担行為について質疑はありませんか。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、10ページの第3表地方債について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 申し訳ないです、10ページの第3表地方債について、これも小学校施設整備事業債ということで計上されていた補正予算がございますけれども、これについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、200ページから202ページまでの給与費明細書について質疑はありませんか。そこも補正予算が入っておりますので、併せて質疑があれば受けたいと思います。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 給与費明細に関するということで、資料要求させていただいて、男女別に育児休暇の取り具合というものを出示していただいたんですけれども、たしか国が2025年で男性30%という目標だったことを思えば、割合的にはまあまあ調子でいきそう、十分かどうか

は別ですよ、別なんですけれども、お尋ねし忘れたんですけれども、男性のほうが平均何日ぐらいといいますか、どれぐらいの期間で育児休暇というものを取っているというような実態か、その辺尋ね忘れたんですけれども、分かればというのが、それが1つと、これは世の中にこういう議論があるのかどうか分からないんですけれども、今回パートナーシップ制度を導入するというようなことがうたわれていますけれども、そうすると場合によっては同性同士のカップルで育児休暇という可能性ってゼロではないと思うんですが、何かしらそういう対応が世の中にあるのかどうか、ご存じであれば教えていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） まず、1点目の男性の育児休業の取得でございますが、はっきりした資料は手元にはございませんが、かなり女性よりは短い期間で取得をしている状況でございます。

もう一点のパートナーシップ制度につきましては、まだ検討段階にも入っておりません、これからの課題かなというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 1点目について言えば、男性は多分1週間ぐらい取っているのがせいぜいか平均かとか、そのような調査結果を見たような記憶があるんですけれども、市としても積極的に取り組んでくださいということと、2点目について言えば、これからの制度なので、様々な問題が出てこようかと思えますし、検討すべきことも新しくどんどん出てくることもあろうかと思うので、アンテナを張って、来年度での検討につなげていただきたいなと思います。これは希望です。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 200ページの下の段の一般職の(1)の総括の中に時間外勤務手当がありまして、下の表の右のほうですけれども、前年度が1億600万円だったんですけれども、本年度が2億179万円ということで、9,545万円プラスになっています。もう倍になっているんですけれども、令和3年度中にいろいろな給付金事業だったりとか、ワクチン接種の対応とかで時間外手当を交付金でつけてあるというのがありましたので、それが6,000万円ぐらいあったんでしょうかね、ざっと計算したところ、だったんですけれども、それ以上に4,000万円プラスしての時間外手当が積算されているということなんですけれども、今でもすごい大変な状況で働いてあると思うんですが、この積算の根拠はどうなっているのか。1人当たり何時間とかというような積算になっているのかというところをちょっとお伺いしたいんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 時間外勤務手当の増加についての説明でございますが、午前中のお答え

とちょっと一部重複しますが、今議会に条例改正の議案を提案させていただいておりますが、職員給与の時間単価算定方式を変更する予定でございます。この分の増加が約8%ございます。

それから、算定の方法につきましては、令和2年度の下半期と令和3年度、今年度の上半期の実績を参考に、コロナ対応等も見込みまして積算を進めておりまして、今回の結果となったということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） もう年度当初から、昨年度よりも時間外勤務が増えますよというふうなことじゃないかなというふうに思うんですけども、それが1点と、職員の方のメンタルの部分、精神的な負担とかも含めて、やはり職員を増やしていかないといけないと思うんですけども、この数字からいくと、職員数は取りあえず正職の方でお二人増やして、会計年度で10人というふうなことになっているみたいですけども、この時間外手当を積算するに当たって、職員をもうちょっと採用するとか、あと、以前の補正予算の審査のときに、経済的に厳しい方を雇用するような体制をつくったらどうかというようなお話もしたと思うんですけども、そこのところの対策としてはいかがだったでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（川谷 豊） 幾つかのご質問があったかと思いますが、順にお答えをしたいと思います。

まず、時間外の関係でございますが、こちらは金額の計上でございますので、先ほど説明しましたとおり単価のアップ分を含むものでございますので、時間数としてはそこまで上がってはいないという分析でございます。

それから、メンタル面、職員の採用関係でございますが、一般質問の中でもありましたが、コロナでありますとか災害対応も多発しておりますので、それらの負担がやや厳しくなっていると感じております。今後につきましては、採用につきましては退職補充が原則ということで進めておりますが、様々な行政需要の増加を見極めながら、職員数の確保を図っていくという方針でございます。

それから、雇用の関係でございます。経済的に困難な方の雇用につきましては、令和3年度につきましては学生さんを中心に、アルバイトがなくなった学生さんあたりを採用する取組などを進めておるところでございます。今後もコロナ禍、コロナの状況を見ながら適宜進めてまいりたいというところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、204ページから218ページまでの各調書について質疑は

ありませんか。

よろしいですかね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、歳入歳出全般について質疑はありませんか。

橋本委員。

○委員(橋本 健委員) 今年度の一般会計の予算が290億円と、私、議員になってこれ初めての大きな予算額だというふうに思っています。昨年の予算が255億円、35億円増額になっているわけですが、この35億円についてどういうふうに捉えたらいいのか。確かに投資的経費は大規模改造なんかで12億円ぐらいかかっていますけれども、あと23億円ぐらいはどういうふうに捉えたらいいのか。あるいはコロナ対策費にかかっているのか、その辺、本市としてはどういうふうな見解をお持ちなのかお聞かせください。

○委員長(陶山良尚委員) 総務部長。

○総務部長(山浦剛志) 今回の予算の増加といいますか、その辺のところにつきまして、今橋本委員言われましたように、1つは投資的経費、水城小学校をはじめそういったものが増えていると。それと、やはり扶助費の増加というのが大きなものがございます。そういったところも、やはり私も注視をしていかないといけないのかなというふうには思っております。

それと、先ほど言われました新型コロナのワクチン接種の分ですね、そちらの分もこちらの中に含まれております。今回、一番当初予算の中に含まれておりますので、そういったものも全体としてかさ上げをしているというふうなところはございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですか。

そしたら、笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 歳入に関することと歳出に関すること、それぞれ1つずつあるんですけども、歳入については、市税のところちょっと最後にまとめて聞けばいいかなと思っていただけども、先に行ってしまったので、ちょっとここをお願いします。

市税収入全体としてみれば、昨年減っていた前の年、一昨年の額にほぼ戻したような感じの数字になっているかと思えます。それが1つと、あと収入の伸びは国の見通しを踏まえたような割合と大体似たような数字になっていたように思うんですけども、だとすると、税収の伸びについてはそういう見込みをするという見方と、そんなにうまくいかないのではないかという説と、私にはどちらを取るべきか判断しかねるんですが、今回の予算案を見ると、太宰府市としては国の見込みに沿うのに近い形で判断をしたと思うんですが、国と太宰府市では経済構造が同じとは言えないんで、あえてそこを選んだ判断の理由というんですか、その辺をお聞かせくださいというのが1つ。

もう一つは、これはちょっと質疑漏れに近い感じで申し訳ないんですけども、資料要求されていた2ページに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で継続的に行ってい

る事業ということで列挙した資料を出していただいていますけれども、コロナ対策だというふうに解釈してこの内容をいろいろ考えていっても、コロナ期に始めたからといって、やめるわけにはいかなさそうなものも含まれているように思うんですね。

例えば位置データ分析ツール導入事業、導入はしたとしても、維持経費は必ずこれかかってくるだろうであるとか、女性の創業支援といったものも、本質的にはコロナとは無関係であるとか、学校にスクールソーシャルワーカーを増やしても、コロナが過ぎれば減らすというふうには恐らく簡単にはいかないだろうと、様々な問題があると思うので、その辺、全般、全体としてでいいですから、継続するなら継続する、新規に始めるなら新規に始めるで判断の基本的な姿勢といたしますか、その辺を説明していただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 総務部経営企画担当理事。

○総務部経営企画担当理事（村田誠英） 結論的に申しますと、一概には言えないというところがあるんだと思っております。例えば個々の事業それぞれ背景が違いまして、例えば今委員おっしゃった位置データとかですと、これやる代わりにやめたものもございます。これまで観光調査とか委託しておったものをやめて、やり方自体を変えようというところでもありますので、一律全部並べてどうすべきかということとは言えないかと。あくまで今後、市が運営していく上で何が必要なのかといったことを個々に判断しながら、その重要性、必要性を見極めながら、どうしていくかというのを判断していくことになるんだろうというふうに考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） それから、最初の国と判断と云々ということに関してでございます。歳入予算に関しまして、全体的にでございますが、例えば国の地方財政計画にのっとりまして歳入予算を計上しているわけですが、それプラス、例えば今年度の決算見込みを考慮いたしまして、国が示すパーセントに若干修正を加えまして、少しですが太宰府市の独自性を出しながら歳入予算を組んでいるところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかには。

徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） 趣旨としては僕も同じような意見を持っているんですけども、僕は素人なんで、かなり専門的に予測されていると思うんですが、世の中何があるか分からないので、もし減額補正しなければならなかったときは、市としてはどういう対応を取られるか決めてあるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（佐藤政吾） あくまでも当初予算は現段階で計上させていただいておるものがございます。社会情勢等も変わってくるかと思しますので、さらに歳入予算は市税から交付金から補助金から様々なものがございます。それぞれ必要に応じて、もし変更等が必要になれば、

補正予算等で対応させていただきたいと考えております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） すみません、かなりいろいろな質問とかぶるかと思うんですけども、もう一回ちょっと聞きたいんですけども、ちなみにこの審査資料の4ページに令和4年度の予算編成方針がありまして、その中の収入のところですね。収入においては、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度の市内外の経済活動が大きく停滞していることから、市税の減収は免れないと、私もそう思っておりました。しかしながら、今回の令和4年度の予算の個人市民税、法人税、こちらのほうが軒並みプラスですね。それぞれ1億3,400万円、1億3,800万円と、これかなりプラスのほうで出ております。これについては、恐らく令和3年度のそれぞれの所得、事業収入、そこに対してかけるものであって、令和3年度自体がそもそもそんなに市民も事業者も落ち込みがなかったというところで、この増額のプラスの個人市民税、法人市民税の計上になったのか、単純なことです。よろしくお願ひします。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） 今のまず個人市民税なんですが、令和3年度の収入見込みで3億7,100万円ほどですね。当初予算と比べまして1億1,700万円ほど多くなる見込みでございます。法人市民税につきましても3億6,300万円ほどということで、当初予算と比較しまして1億1,000万円ほど予算額を上回る見込みでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 何となくそれに基づいてそうなると言われたらそうなのでしょうけれども、でもちなみに例えば生活に困っている方、事業に行き詰まっているような方がいっぱいいらっしゃるというところで、そういう対策事業ばかり見てきたわけですし、それぞれそもそもの市民生活とか経済界の状況を私もちょっとつかみ切れてないんですけども、そこそ令和4年度はそれほど市税収入においては心配することがないというようなことでよろしいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 税務課長。

○税務課長（田代 浩） 令和3年度の収入見込み、それから国のほうの先ほど言いましたような見込みを含めて算定をしております、この予算額はそれに近いものになるんじゃないかということ考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかによろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、以上で質疑を終わります。

これより意見交換を行います。

なお、この意見交換は、当該議案について委員間で自由な討議、意見の交換を行うものであり、執行部に対する質疑は終了しておりますので、この場で行うことはできないことを申し添えます。

それでは、ご意見はありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 最後の木村委員に対する受け答えを聞いて思ったことだけ述べておきたいと思ったんですけれども、税収の見込みは大きくは落ち込まなさそうだろうと。これは木村委員が言われたことは、我々はこの間ずっと、困った人たちにどうしていくかということを見続けてきたという話で、ということは、税収が、払った人と、もう税も払えないぐらい困った人が二分化してしまったのではないのかなという心配を、今のやり取りで感じました。実証はしていませんし、理屈もありませんが、ちょっとそういう不安を覚えたということだけ耳に入れておきたいなというふうに思ったので、一言言わせていただきました。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにご意見はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これで意見交換を終了します。

これから討論、採決を行います。

議案第20号「令和4年度太宰府市一般会計予算について」討論はありませんか。

神武副委員長。

○副委員長（神武 綾委員） 反対の立場で発言をします。

予算審査の中で様々事業について伺いましたけれども、人権政策費の地域対策費の存在は以前から指摘しておりますが、変わりなく今回も予算組みがされています。それから、最後に申しました職員の方の働き方について、補正予算のときにも提案をしておりましたが、改善がされていないという点も指摘させていただきたいと思います。ほかにもございますが、詳しいことは本会議の最終日に述べさせていただきたいと思います。

これをもって反対討論といたします。

○委員長（陶山良尚委員） 賛成討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第20号を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手お願いします。

（多数挙手）

○委員長（陶山良尚委員） 多数挙手であります。

よって、議案第20号については原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

〈原案可決 賛成16名、反対1名 午後4時41分〉

○委員長（陶山良尚委員） 次に、議案第27号「令和4年度太宰府市一般会計補正予算（第1号）について」討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第27号を原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（陶山良尚委員） 全員挙手であります。

よって、議案第27号については原案のとおり可決すべきものと決定をいたしました。

〈原案可決 賛成17名、反対0名 午後4時41分〉

○委員長（陶山良尚委員） 以上、本会議において報告をいたします。

本日の審査はここまでといたします。

3日目の委員会は、3月16日午前10時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本日はこれもちまして散会いたします。

散会 午後4時42分

~~~~~ ○ ~~~~~